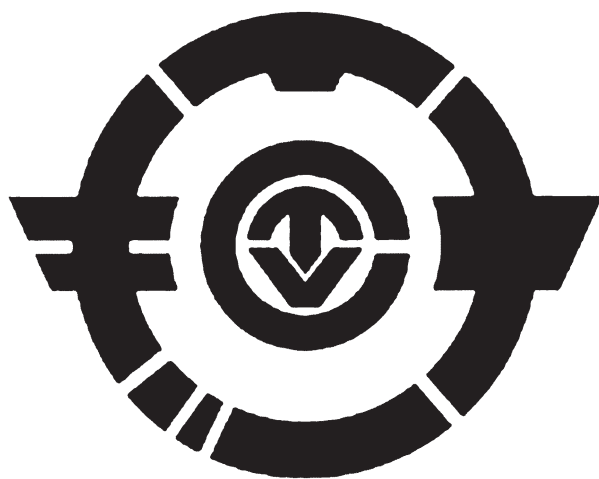
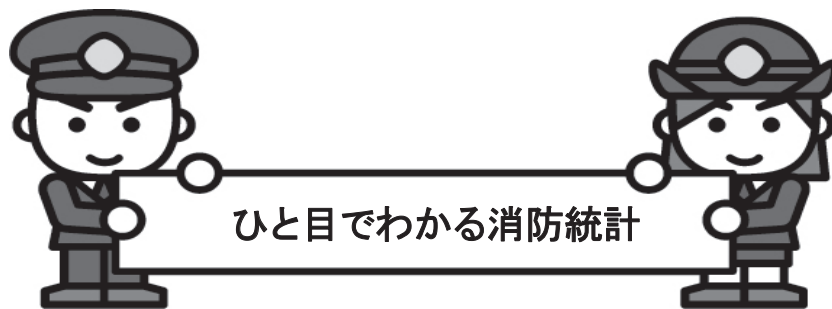


消防年報

2020



稲敷広域消防本部



ひと目でわかる消防統計

面積 (2.4.1)

550.49Km²
構成 3市3町1村

人口 (2.4.1)

286,249人

世帯数 (2.4.1)

116,577世帯

署所数 (2.4.1)

消防本部 1
消防署 5
分署 2
出張所 2

職員数 (2.4.1)

定数 410人
実員 388人

119番通報(元年)

18,624件

消防車 (2.4.1)

水槽付ポンプ車 11台
(非常用水槽付ポンプ車2台含む)
普通ポンプ車 9台

特殊車両 (2.4.1)

はしご車 3台
化学車 3台
救助工作車 3台
支援車 1台

救急車 (2.4.1)

高規格救急車 16台
(非常用救急車3台含む)

火災発生件数(元年)

126件

救急出場件数(元年)

13,843件

救助出動件数(元年)

202件

防火対象物数 (2.4.1)

7,192棟

危険物施設数 (2.4.1)

製造所 21施設
貯蔵所 631施設
取扱所 277施設

民間防火組織数 (2.4.1)

幼年消防クラブ 18
少年消防クラブ 3
婦人消防クラブ 2

はじめに

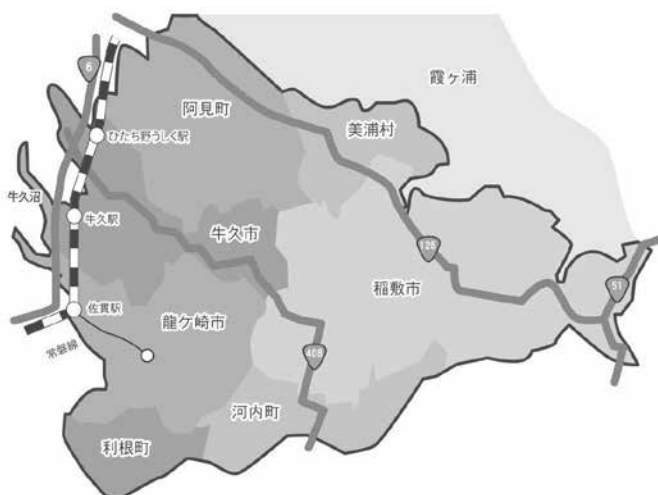
この年報は、稲敷広域消防の現勢及び令和元年中における消防業務に関する諸般の事項を集録し、消防事情を紹介するために編集しました。

また、本書における統計については、暦年を原則として作成したのですが、これらによらないものについては、それぞれ記載した年月日及び期間により作成しました。

令和2年7月

稲敷広域消防本部

圏域の位置



表紙説明

「組合章」で、円形はイナシキの円満団結を示し、中心にはC、T、V（市、町、村）を配し、左右の翼は、より一層の飛躍、発展を祈念しています。

目 次

令和元年度の主な行事・事業等	1
稲敷地方広域市町村圏の概要	3
稲敷広域消防の沿革	4
令和元年度更新車両等	8
総務関係	
稲敷広域消防の組織	10
消防本部事務分掌	11
消防署・分署事務分掌	13
消防本部・消防署所庁舎一覧表	14
消防職員配置状況	15
消防職員階級別勤続年数	16
消防職員階級別年齢	17
職員教育・研修実施状況	18
組合予算・相互応援協定状況	19
予防関係	
予防広報活動の紹介	20
民間防火組織の活動紹介	21
市町村別危険物施設状況	23
危険物製造所等許可状況	23
危険物規制事務等手数料	23
市町村別防火対象物現況	24
法届出状況	25
条例届出状況	26
中高層建築物	27
消防同意事務状況	28
民間防火組織一覧	29
警防関係	
消防機動力	30
消防車両等の配置状況	32
主な消防器具等	34
消防隊の主な訓練及び講習会等	35
総出場状況	37
所属別火災出場状況	38
救助事故種別出動件数及び活動件数	39
救助事故種別救助人員及び車両搬送人員	39
救助事故種別出動人員及び活動人員	39
救助事故種別発生場所別出動件数	40
救助事故種別発生場所別活動件数	40
救助事故種別発生場所別救助人員	40
救助事故種別出動車両台数	41
救助事故種別活動車両台数	41

救助隊員の訓練実施状況	41
圏域内市町村別消防水利施設設置状況	42
通信関係	
通信指令の業務	43
119番通報電話機別の推移	44
通信系統	45
通信施設状況	46
119番着信件数・災害出場指令件数	47
無線局一覧表	48
緊急通報システム受信状況	52
NET119受信状況	52
気象警報注意報発令調	53
月別風速・気温・湿度・雨量調	54
火災関係	
火災調査	55
火災統計上の参考事項	56
火災概況	58
市町村別火災概要	59
月別火災種別	60
曜日別火災種別	60
時間帯別火災種別	60
火災種別出火原因	61
過去5年間の火災原因状況	62
過去10年間の火災件数推移	62
救急関係	
各種救急訓練・事例検討会の紹介	63
ドクターヘリ及びドクターカーの紹介	64
救急講習会の紹介	65
稲敷地区メディカルコントロール協議会の紹介	65
市町村別救急出動状況	66
月別救急出動状況	66
事故種別年齢区分別搬送状況	67
事故種別傷病程度別搬送状況	67
救急隊員の行った応急処置件数調	68
市町村別救急出動状況推移	69
救急出場件数推移	70
救命講習実施状況	70
救急蘇生の状況	71
管内消防団関係	
管内消防団の状況	72

令和元年度の主な行事・事業等

4月

- ◆ 茨城県高速道連絡協議会総会
- ◆ 法制執務研修
- ◆ 人事評価研修
- ◆ 水防指導員訓練



二組合水防訓練

5月

- ◆ 稲敷地方危険物安全協会総会
- ◆ 二組合水防訓練
- ◆ 稲敷MC協議会 理事会・総会
- ◆ 第1回救急事例検討会



防災ヘリコプター利用説明会

6月

- ◆ 第1回消防運営委員会
- ◆ 茨城県消防救助技術大会
- ◆ JAとりで総合医療センター医療連携講演会
- ◆ JAとりで総合医療センター救急事例検討会
- ◆ プリセプター研修会
- ◆ 潜水救助訓練（海洋高校）
- ◆ 産業医巡視・健康相談（龍ヶ崎署）
- ◆ 火災調査主任調査員研修会
- ◆ 災害活動シミュレーション
- ◆ 防災ヘリコプター利用説明会



茨城県消防救助技術大会

7月

- ◆ 第1回救急隊員勉強会
- ◆ 筑波大学医療連携懇談会
- ◆ 産業医巡視・健康相談（牛久署）
- ◆ 消防職員委員会
- ◆ 政策法務研修
- ◆ 災害活動シミュレーション



社会福祉施設等における
夜間防火管理体制研修会

8月

- ◆ 職員健康診断
- ◆ 産業医巡視・健康相談（いなほ署）
- ◆ 社会福祉施設等における夜間防火管理体制研修会
- ◆ 模擬裁判研修会
- ◆ 通信指令課員シミュレーション

9月

- ◆ JAとりで総合医療センター救急事例検討会
- ◆ 消防車両整備講習会
- ◆ 潜水救助訓練（霞ヶ浦）
- ◆ 産業医巡視・健康相談（阿見署・牛久東部所）



JAとりで救急事例検討会

10月

- ◆ 第2回消防運営委員会
- ◆ 産業医巡視（利根署）
- ◆ 違反是正の推進に係る実務研修・報告会
- ◆ 茨城県消防長会警防部会警防技術研修（常総市）



消防車両整備講習会

11月

- ◆ 警防技術研修（大和市消防本部）
- ◆ 人事評価研修
- ◆ 産業医巡視・健康相談（桜東分署）
- ◆ 消防運営員会視察研修
- ◆ 火災調査主任調査員現認研修会
- ◆ 第1回救急事例検討会（ドクターヘリ）
- ◆ 東京医科大学茨城医療センター医療連携懇談会



火災調査研究発表会

12月

- ◆ 火災調査研究発表会
- ◆ 産業医巡視・健康相談（消防本部・龍ヶ崎西部所）
- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会



救急事例検討会

1月

- ◆ 震災対応訓練
- ◆ 救急活動シミュレーション
- ◆ 救命士活動報告

2月

- ◆ 職員健康診断
- ◆ 産業医健康講話
- ◆ 土浦協同病院医療懇談会
- ◆ 通信指令課シンポジウム
- ◆ 航空機事故対応図上訓練



航空機事故対応図上訓練

3月

- ◆ 産業医健康講話
- ◆ JAとりで総合医療センター救急事例検討会

稲敷地方広域市町村圏の概要

本圏域は、都心より東へ50～70 km、茨城県の南端に位置し、JR常磐線沿いの龍ヶ崎市、牛久市と東に位置する稲敷市を中心に3市3町1村によって構成され、人口は、約29万人、総面積は、約550k㎡に及んでいます。

圏域北部は、風光明媚な霞ヶ浦に面し、東南部は、釣りの名所である利根川、横利根川に境を接し、西部は、紫峰筑波山を北方に仰ぎ、小貝川、牛久沼で境をなしています。

圏域内総面積のうち、約65%が稲敷台地と呼ばれる標高25m前後の台地で、西部は、JR龍ヶ崎市駅（旧佐貫駅）、JR牛久駅及びJRひたち野うしく駅を玄関口に首都圏のベッドタウンとして都市化の進展と人口が増加し住宅団地等の開発が盛んであるなか、圏域から東部においては、県内有数の穀倉地帯として整備の進んだ水田が広がる一方、首都圏中央連絡自動車道等の開通に伴い、各地に工業団地の開発が行われ、農業中心に経緯してきた様相にも、変化が著しい状況にあります。

こうしたなかで、当組合消防本部は、圏域約29万の住民のため、安全で安心な街づくりに、防災の担い手として努力しております。

構成市町村面積・人口・世帯数

令和2年4月1日現在

市町村別	面積 (k㎡)	人口 (人)	世帯数 (戸)
龍ヶ崎市	78.55	76,489	32,035
牛久市	58.92	84,456	34,814
稲敷市	205.81	39,467	14,703
阿見町	71.40	47,676	19,986
利根町	24.90	15,233	6,184
河内町	44.30	8,363	2,975
美浦村	66.61	14,565	5,880
合計	550.49	286,249	116,577

(人口・世帯数は茨城県政策企画部統計課調)

稲敷広域消防の沿革

龍ヶ崎市，牛久町，江戸崎町，利根町，東村，河内村，新利根村，美浦村，桜川村の9ヶ市町村は，昭和47年8月15日の広域市町村整備配置要綱により広域市町村圏の指定をうけたので，同要綱に基づいて総合計画を策定し，昭和48年12月17日，茨城県知事より稲敷地方広域市町村圏事務組合の設立を条件付きで許可された。しかし，消防の特殊性を鑑み昭和49年6月10日消防条項を規約に組入れ昭和50年4月1日，消防本部を発足する。

- 昭和50年 4月1日 1市3町5村をもって稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部を発足し，既設の龍ヶ崎消防署を核として業務を開始する。消防職員37名増員 職員数97名となる。初代消防長 岡田昭守 就任。
- 7月1日 江戸崎消防署並びに牛久消防署を開設し，3署とする。
- 10月1日 消防職員1名増員，職員数98名となる。
- 昭和51年 4月1日 消防職員25名増員，職員数123名となる。
- 4月2日 先に開設した牛久消防署庁舎，鉄筋コンクリート造一部2階建て，延床面積441.50㎡が完成し移転する。
- 7月1日 江戸崎消防署東出張所を開設し，3署1出張所とする。
消防職員1名増員 職員数124名となる。
- 8月10日 消防長 宮本 衛 となる。
- 12月17日 先に開設した江戸崎消防署庁舎，鉄筋コンクリート造一部2階建て，延床面積458.55㎡が完成し移転する。
- 昭和52年 4月1日 消防職員35名増員，職員数158名となる。
- 7月1日 龍ヶ崎消防署利根出張所を開設し，3署2出張所とする。
- 12月6日 先に開設した江戸崎消防署東出張所庁舎，鉄筋コンクリート造平屋建て，延床面積290.00㎡が完成し移転する。
- 昭和53年 1月20日 江戸崎消防署美浦出張所を開設 鉄筋コンクリート造平屋建て，延床面積363.84㎡，3署3出張所とする。
- 4月1日 消防職員20名増員，職員数178名となる。
- 7月1日 龍ヶ崎消防署新利根出張所及び江戸崎消防署桜川出張所を開設し，3署5出張所とする。消防職員7名増員，職員数185名となる。
- 昭和54年 1月1日 消防職員1名増員，職員数186名となる。
- 1月25日 先に開設した龍ヶ崎消防署利根出張所庁舎，鉄筋コンクリート造平屋建て，延床面積254.65㎡が完成し移転する。
- 4月1日 消防職員17名増員，職員数203名となる。
- 7月1日 龍ヶ崎消防署河内出張所を開設し，3署6出張所とする。
- 昭和55年 1月1日 消防職員2名増員，職員数205名となる。
- 2月13日 先に開設した江戸崎消防署桜川出張所庁舎，鉄筋コンクリート造平屋建て，延床面積289.53㎡が完成し移転する。

- 2月29日 先に開設した龍ヶ崎消防署新利根出張所庁舎、鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積291.91㎡が完成し移転する。
- 昭和56年 3月2日 先に開設した龍ヶ崎消防署河内出張所庁舎、鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積305.50㎡が完成し移転する。
- 3月27日 消防本部庁舎、鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積970.21㎡が完成し移転する。
- 10月1日 消防長 仲山 徹となる。
- 12月15日 牛久消防署庁舎 車庫、仮眠室104.00㎡を増築する。
- 昭和57年 4月1日 消防職員8名増員 職員数205名となる。
- 昭和58年 3月14日 龍ヶ崎消防署河内出張所に救助訓練塔A、B、C塔が完成する。
- 10月1日 消防長事務取扱 宮本 衛となる。
- 昭和59年 3月30日 茨城県防災行政無線が消防本部に設置される。
- 8月15日 消防長事務取扱 岡田昭守となる。
- 昭和60年 3月1日 救急指令装置、地図検索装置を設置、通信指令室を開設する。
- 4月1日 消防本部の組織規則の一部を改正し消防本部の機構を3課10係とする。
- 昭和61年 6月1日 牛久町が市制を施行し牛久市となり、構成市町村は2市2町5村となる。
- 昭和62年 4月1日 消防職員27名増員 職員数225名となる。
- 龍ヶ崎消防署利根出張所を利根消防署として開設し、職員17名を配置する。
- 龍ヶ崎消防署西部出張所を開設 鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積319.75㎡、職員11名を配置する。
- 牛久消防署西部出張所を開設 鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積339.67㎡、職員11名を配置する。
- 昭和63年 1月31日 利根消防署庁舎 65.2㎡を増築する。
- 平成3年 4月1日 消防職員18名増員 職員数235名となる。
- 12月12日 通信指令装置及び車両に消防用無線全国共通波を整備する。
- 平成4年 4月1日 消防職員14名増員 職員数248名となる。
- 6月5日 消防長事務取扱 内藤謙吉となる。
- 8月6日 消防長事務取扱 海老原龍生となる。
- 平成5年 4月1日 消防長 海老原淳二となる。
- 平成6年 4月1日 消防職員13名増員 職員数259名となる。
- 平成7年 4月1日 消防本部の組織規則の一部を改正し、本部の機構を5課13係とする。また、消防署の組織規程を全部改正する。
- 消防職員15名増員 職員数273名となる。
- 9月5日 消火隊3隊を含む計6隊を緊急消防援助隊として登録する。
- 10月6日 消防本部20周年記念式典開催
- 平成8年 4月1日 消防職員16名増員 職員数287名となる。
- 6月1日 河内村及び新利根村が町制を施行し河内町、新利根町となり、構成市町村は、2市4町3村となる。
- 9月1日 東村が町制を施行し東町となり、構成市町村は、2市5町2村となる。
- 平成9年 4月1日 消防職員16名増員 職員数299名となる。

平成 10 年	3 月 31 日	利根消防署庁舎 23.55 m ² を増築する。
平成 10 年	4 月 1 日	消防職員 1 1 名増員 職員数 3 0 9 名となる。
平成 11 年	3 月 23 日	江戸崎消防署庁舎 406.07 m ² を増築する。
	4 月 1 日	消防長 松本育之となる。消防職員 1 2 名増員 職員数 3 1 8 名となる。
平成 12 年	4 月 1 日	消防職員 6 名増員 職員数 3 2 1 名となる。
平成 13 年	4 月 1 日	消防長 関口忠夫となる。消防職員 7 名増員 職員数 3 2 2 名となる。
平成 14 年	4 月 1 日	消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 4 課 1 1 係とする。消防職員 2 名増員 職員数 3 2 0 名となる。
平成 15 年	4 月 1 日	消防長 酒井保之となる。
平成 16 年	4 月 1 日	消防長 長田保一となる。消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 0 係とする。 消防署の組織に関する規程の一部を改正し、消防署の機構を 3 課とする。 消防職員 4 名増員 職員数 3 1 7 名となる。
平成 17 年	3 月 22 日	江戸崎町, 東町, 新利根町, 桜川村の 4 町村合併により稲敷市誕生。
	4 月 1 日	消防職員 5 名増員 職員数 3 2 2 名となる。
	7 月 1 日	消防署の組織に関する規程の一部を改正し、消防署の機構を 4 課とする。
平成 18 年	3 月 15 日	龍ヶ崎消防署新庁舎 鉄骨造 2 階建て, 延床面積 1,967.64 m ² が完成し移転する。消防本部通信指令課に高機能通信指令装置が更新となる。
	4 月 1 日	消防長 川崎榮一となる。
平成 20 年	4 月 1 日	消防長 仲山松男となる。 消防職員 1 1 名増員 職員数 3 2 2 名となる。
平成 21 年	4 月 1 日	牛久消防署東部出張所を開設 鉄骨造平屋建て, 延床面積 575.0 m ² , 職員 1 6 名を配置する。同西部出張所を閉庁する。 消防長 川井 寛となる。 消防職員 1 1 名を採用 職員数 3 2 7 名となる。
平成 22 年	4 月 1 日	消防長 本谷正一となる。 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 1 係とする。 消防職員 8 名を採用 職員数 3 2 9 名となる。 江戸崎消防署桜東分署を開設 鉄骨造平屋建て, 延床面積 650.50 m ² , 職員 2 5 名を配置する。 江戸崎消防署東出張所, 同桜川出張所を閉庁する。
	7 月 1 日	高度救助隊 (スーパーレスキュー稲敷) 発足, 隊員 1 4 名を龍ヶ崎消防署に配置する。
平成 23 年	1 月 13 日	牛久消防署庁舎 仮眠室 271.88 m ² を増築する。
	4 月 1 日	消防職員 9 名を採用 職員数 3 3 2 名となる。
平成 24 年	4 月 1 日	消防職員 1 1 名を採用 職員数 3 3 3 名となる。 龍ヶ崎消防署新河分署を開設 鉄骨造 2 階建て, 延床面積 719.79 m ² , 職員 2 5 名を配置する。 龍ヶ崎消防署河内出張所, 江戸崎消防署新利根出張所を閉庁する。

- 平成 25 年 4 月 1 日 消防長 酒井健生となる。
消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 2 係とする。
消防職員 1 4 名を採用 職員数 3 3 4 名となる。
- 平成 26 年 4 月 1 日 消防職員 1 6 名を採用 職員数 3 3 1 名となる。
- 平成 27 年 4 月 1 日 阿見町消防本部との広域化を実施。消防本部の名称を稲敷広域消防本部とする。
消防長 石塚伸也となる。
消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 隊 1 3 係とする。
消防職員 1 9 名を採用 職員数 3 9 4 名となる。
いなほ消防署開設 鉄骨造 2 階建て、延床面積 1,868.26 m²、職員 5 2 名を配置する。
江戸崎消防署、同美浦出張所を閉庁する。
- 平成 28 年 4 月 1 日 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 隊 1 6 係とする。
消防職員 1 5 名を採用 職員数 4 0 1 名となる。
- 平成 29 年 4 月 1 日 消防長 澁谷明宏となる。
消防職員 2 5 名、再任用職員 5 名を採用 職員数 3 9 5 名となる。
- 10 月 1 日 消防職員 2 名を採用 職員数 3 9 4 名となる。
- 平成 30 年 4 月 1 日 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 隊 1 5 係とする。
消防職員 1 6 名、再任用職員 9 名を採用 職員数 3 9 6 名となる。
- 10 月 1 日 消防職員 7 名を採用 職員数 4 0 2 名となる。
- 令和元年 4 月 1 日 消防職員 1 8 名、再任用職員 7 名を採用 職員数 3 9 6 名となる。
- 10 月 1 日 消防職員 1 0 名を採用 職員数 4 0 6 名となる。
- 令和 2 年 4 月 1 日 消防職員 1 4 名、再任用職員 8 名を採用 職員数 4 0 1 名となる。

令和元年度更新車両等

救助工作車



配置先：いなほ消防署
主な装備：油圧ウィンチ装置
発電機・照明装置
クレーン装置
ポンプ装置
電動式油圧救助器具

指揮車



配置先：消防本部
主な仕様：乗車定員5名
4輪駆動

高規格救急自動車



配置先：牛久消防署
主な装備：酸素呼吸器
人工呼吸器
自動体外式除細動器
観察用モニター

バイク



配置先：龍ヶ崎消防署西部出張所
いなほ消防署

主な仕様：ホンダ・CRF250

救助ボート



配置先：阿見消防署

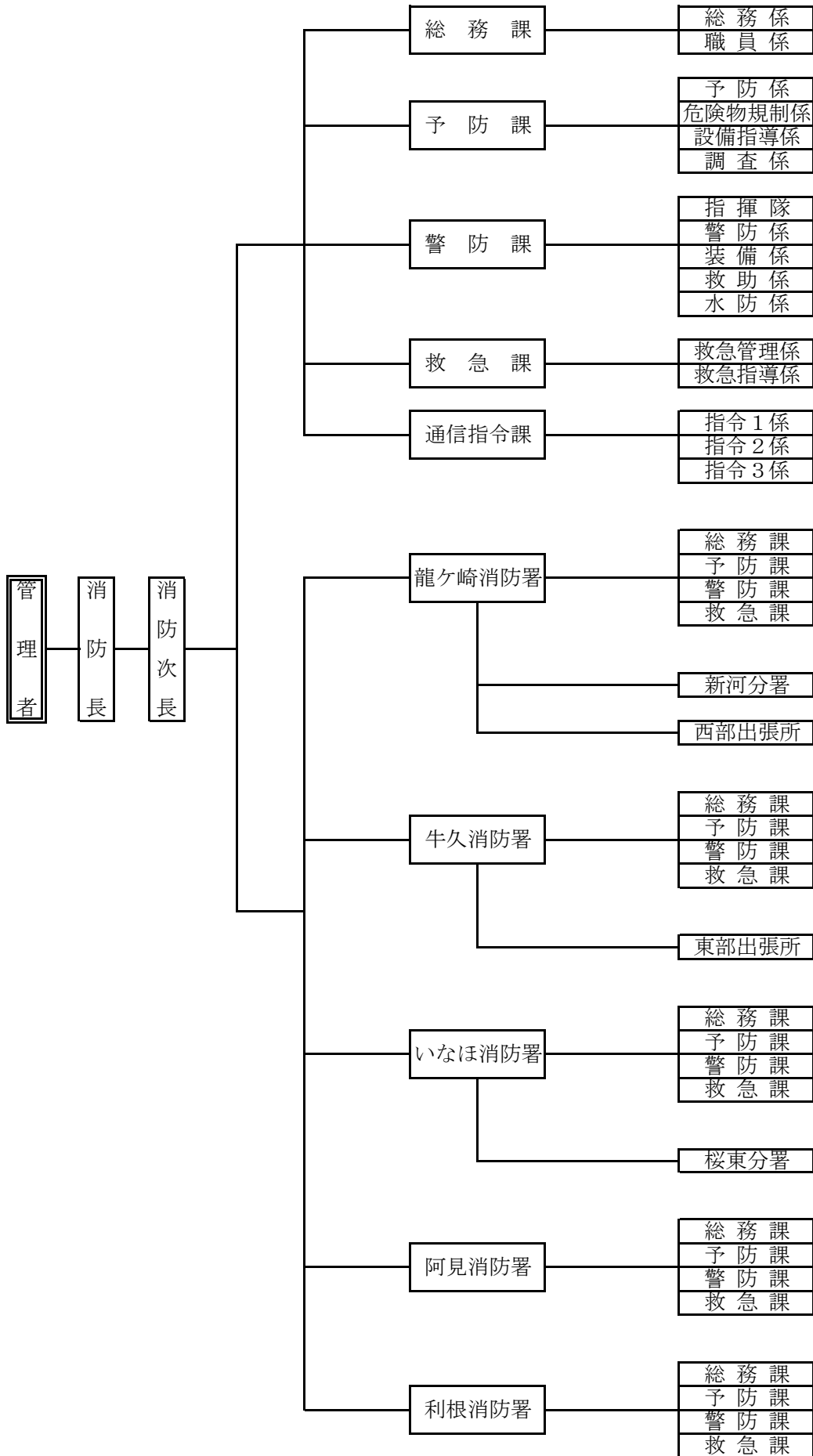
主な仕様：最大搭乗人員5名
ウレタン製ボート

総務



● 産業医健康講話

稲敷広域消防の組織



消防本部事務分掌

総務課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の昇任、昇格に関する事。
- (4) 消防関係例規に関する事。
- (5) 消防施設の整備及び管理に関する事。
- (6) 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- (7) 職員の任免、配置、服務、分限、懲戒、表彰その他人事に関する事。
- (8) 職員の給与、公務災害補償及び補償補填に関する事。
- (9) 研修計画及び管外消防との情報連絡に関する事。
- (10) 貸与品及び消耗品等に関する事。
- (11) 予算、決算及び経理に関する事。
- (12) 消防事務の企画及び事務管理に関する事。
- (13) 消防用財産の管理に関する事。
- (14) 組織及び制度に関する事。
- (15) 統計に関する事。
- (16) 他の課に属さない事。

予防課

- (1) 火災の予防に関する事。
- (2) 民間防火組織等の育成及び防火思想の普及に関する事。
- (3) 予防査察及び指導に関する事。
- (4) 広報及び広聴に関する事。
- (5) 罹災証明等に関する事。
- (6) 統計に関する事。
- (7) 防火管理者及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 火災原因及び損害の調査に関する事。
- (9) 建築確認等の同意に関する事。
- (10) 消防用設備等の検査及び指導に関する事。
- (11) 消防対象物（危険物製造所等を除く）の使用の届出等に関する事。
- (12) 火災予防条例に基づく届出等に関する事。
- (13) 火気使用設備及び器具に関する事。
- (14) 危険物製造所等の許認可に関する事。
- (15) 危険物製造所等の火災予防措置に関する事。
- (16) 少量危険物、指定可燃物等の火災予防措置に関する事。
- (17) 液化石油ガス貯蔵取扱施設の保安上の措置に関する事。
- (18) 圧縮アセチレンガス等の届出に関する事。
- (19) 防火協力団体に関する事。

警防課

- (1) 災害現場活動の指揮に関する事。
- (2) 出場隊の運用・安全管理に関する事。

- (3) 災害情報の収集・管理に関する事。
- (4) 現場の観察及び効果並びに評定に関する事。
- (5) 警防計画及び演習，訓練に関する事。
- (6) 核燃料物質及び放射性同位元素，劇物，毒薬等の貯蔵取扱の届出に関する事。
- (7) 消防の相互応援に関する事。
- (8) 水火災その他災害出動及び連絡調整並びにこれらによる被害調査等に関する事。
- (9) 消防技術の研究及び指導に関する事。
- (10) 消防の教養，訓練等に関する事。
- (11) 地理水利の調査及び保守に関する事。
- (12) 都市計画等の消防施設設置に関する事。
- (13) 車両の安全運転管理及び交通事故に関する事。
- (14) 消防機械器具の整備及び管理に関する事。
- (15) 消防油脂類，消火薬剤及び消防用資器材の管理等に関する事。
- (16) 救助及び潜水業務に関する事。
- (17) 統計に関する事。
- (18) 水防事務に関する事。

救急課

- (1) 救急業務に係る調査及び研究に関する事。
- (2) 救急資器材，医薬品等の整備及び管理に関する事。
- (3) 救急車両の配備，維持管理等に関する事。
- (4) 救急活動技術の研究及び指導訓練に関する事。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (6) 感染防止に関する事。
- (7) ドクターヘリ等運用に関する事。
- (8) 茨城 DMAT 運用に関する事。
- (9) 救急要請受付時の口頭指導に関する事。
- (10) 患者等搬送事業に関する指導及び認定に関する事。
- (11) 応急手当普及業務に関する事。
- (12) 稲敷地区メディカルコントロール協議会に関する事。
- (13) 統計に関する事。
- (14) その他救急業務に関する事。

通信指令課

- (1) 消防緊急システムの企画，調整及び運営管理に関する事。
- (2) 通信技術の研究及び指導に関する事。
- (3) 出動指令に関する事。
- (4) 通信統制に関する事。
- (5) 各種災害関係情報の収集及び伝達に関する事。
- (6) 消防及び救急の相互応援指令に関する事。
- (7) 防災行政無線に関する事。
- (8) 緊急通報システムに関する事。
- (9) その他通信指令事務に関する事。

消防署・分署事務分掌

総務課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の研修及び訓練に関する事。
- (4) 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- (5) 職員の服務、規律、願及び届に関する事。
- (6) 経理に関する事。(分署を除く。)

予防課

- (1) 火災予防思想の普及に関する事。
- (2) 予防査察及び指導に関する事。
- (3) 建築確認等の同意及び消防用設備等の検査に関する事。
- (4) 危険物、少量危険物、指定可燃物等の規制及び当該施設の査察に関する事。
- (5) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (6) 統計に関する事。
- (7) 防火管理者、消防設備士及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 消防諸証明に関する事。
- (9) 防火協力団体に関する事。

警防課

- (1) 火災その他の災害の警戒及び防ぎょ活動(以下「消防活動」という。)に関する事。
- (2) 警防活動技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 消防活動上支障となる物質等の調査及び防災指導に関する事。
- (4) 救急活動との連携に関する事。
- (5) 地理及び水利の調査に関する事。
- (6) 消防車両、機械器具、装備、資材等の点検整備及び保全に関する事。
- (7) 救助活動に関する事。
- (8) 救助技術の研修及び訓練に関する事。
- (9) 統計に関する事。
- (10) 消防団との連携に関する事。
- (11) 他の関係機関との連絡調整に関する事。

救急課

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 警防活動との連携に関する事。
- (4) 統計に関する事。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (6) 救急車両、資機材、医薬品等の点検管理に関する事。

消防本部・消防署所庁舎一覧表

区分 名称	所在地	建物構造	建物面積	竣工年月日
消防本部	龍ヶ崎市 3,571番地の1	鉄筋コンクリート造 3階建	土地 917.50 m ² 庁舎 970.21 m ² 倉庫 67.16 m ²	昭和56年3月27日
龍ヶ崎消防署	龍ヶ崎市 1,759番地	鉄骨造 2階建	土地 4,918.00 m ² 庁舎 1,967.64 m ² 防災倉庫 55.78 m ²	平成18年3月15日
牛久消防署	牛久市栄町 4丁目1番地	鉄筋コンクリート造 2階建	土地 2,470.99 m ² 庁舎 817.38 m ²	昭和51年4月2日 昭和56年12月増築 平成23年1月増築
いなほ消防署	稲敷市犬塚 1,570番地2	鉄骨造 2階建	土地 11,697.45 m ² 庁舎 1,868.26 m ² 防災倉庫 350.00 m ² 訓練塔(5階建) 180.00 m ²	平成27年3月30日
阿見消防署	阿見町若栗 3,337番地	鉄筋コンクリート造 2階建	土地 4,402.00 m ² 庁舎 1,358.83 m ² 訓練塔A 96.00 m ² 訓練塔B 121.00 m ²	昭和58年7月10日
利根消防署	利根町布川 2,073番地	鉄筋コンクリート造 平屋建	土地 2,522.43 m ² 庁舎 343.40 m ² 倉庫 29.43 m ²	昭和54年1月25日 昭和63年1月増築 平成10年3月増築
龍ヶ崎消防署 新河分署	河内町長竿 5,765番	鉄骨造 2階建	土地 4,384.00 m ² 庁舎 719.79 m ² 倉庫 138.00 m ² 防災倉庫 53.09 m ²	平成24年3月24日
いなほ消防署 桜東分署	稲敷市上須田 355番1	鉄骨造 平家建	土地 5,578.00 m ² 庁舎 650.50 m ² 倉庫 100.00 m ² 防災倉庫 52.67 m ²	平成22年2月11日
龍ヶ崎消防署 西部出張所	龍ヶ崎市馴柴町 1区23番地の2	鉄筋コンクリート造 平家建	土地 1,490.00 m ² 庁舎 319.75 m ²	昭和62年3月12日
牛久消防署 東部出張所	牛久市久野町 798番地1	鉄骨造 平家建	土地 2,477.14 m ² 庁舎 575.00 m ² 防災倉庫 59.60 m ²	平成21年3月29日

消 防 職 員 配 置 状 況

令和2年4月1日現在

階級 所属		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
		消 防 本 部	消 防 長	1							
	総 務 課		1		3	2		1		1	8
	予 防 課			1	3	2	1				7
	警 防 課		★ 1	2	7	4					14
	救 急 課			1	3						4
	通信指令課			1	7	7	2				17
	小 計	1	2	5	23	15	3	1		1	51
龍ヶ崎消防署			1	1	11	8	11	12	17		61
	新河分署			1	4	6	5	4	4		24
	西部出張所				2	4	5	4	3		18
	小 計		1	2	17	18	21	20	24		103
牛久消防署			★ 1	1	7	9	9	11	23		61
	東部出張所				2	4	3	5	4		18
	小 計		1	1	9	13	12	16	27		79
いなほ消防署				2	7	8	11	8	16		52
	桜東分署			1	3	7	6	2	5		24
	小 計			3	10	15	17	10	21		76
阿見消防署			1	1	9	5	13	7	17		53
利根消防署				1	7	7	2	2	7		26
合 計		1	5	13	75	73	68	56	96	1	388

★ 消防次長を兼務

※ 再任用職員 8 名、派遣等職員 5 名を除く。

消防職員階級別勤続年数

令和2年4月1日現在

階級 勤続年数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	計
1年未満								24		24
1年以上								24		24
2 "								17		17
3 "							3	19		22
4 "							4	8		12
5 "						1	13	4		18
6 "						3	12			15
7 "						7	9			16
8 "						5	5			10
9 "						4	2			6
10 "					1	5	2			8
11 "					3	7	2			12
12 "					2	10	1			13
13 "					1	3				4
14 "										
15 "					4	1				5
16 "					2	2				4
17 "										
18 "					1	1				2
19 "				2	3	3				8
20 "				1	3					4
21 "				1	8	1				10
22 "				1	4	8				13
23 "				3	11	2	1			17
24 "				12	5				1	18
25 "				3	7	2				12
26 "				7	7	1				15
27 "				1						1
28 "			1	6	5		2			14
29 "			1	8	6	2				17
30 "				1						1
31 "										
32 "										
33 "		1	9	17						27
34 "										
35 "										
36 "				2						2
37 "										
38 "		1	1	2						4
39 "		2	1	4						7
40 "										
41 "	1	1		4						6
計	1	5	13	75	73	68	56	96	1	388
平均勤続年数	41.0	38.0	33.2	29.3	22.0	13.7	7.4	1.7	24.0	15.5

※ 再任用職員 8 名、派遣等職員 5 名を除く。

消 防 職 員 階 級 別 年 齢

令和2年4月1日現在

階級 年齢	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
	18 歳								2	
19 歳								4		4
20 歳								12		12
21 歳								15		15
22 歳								22		22
23 歳							2	19		21
24 歳							7	14		21
25 歳							6	2		8
26 歳						2	6	2		10
27 歳						3	4	3		10
28 歳						3	4			7
29 歳						5	9	1		15
30 歳						5	7			12
31 歳						5	3			8
32 歳						5	2			7
33 歳					2	4	1			7
34 歳					2	2				4
35 歳					1	4	1			6
36 歳					1	7				8
37 歳					2		1			3
38 歳					3	1				4
39 歳					5	2				7
40 歳					2	4				6
41 歳				1	5	3	1			10
42 歳				3	7	4				14
43 歳				4	9	4				17
44 歳				7	9	2				18
45 歳				3	3	1			1	8
46 歳			1	9	9					19
47 歳				2	5	1	2			10
48 歳				4	3					7
49 歳				7	2	1				10
50 歳			1	1	2					4
51 歳			3	11						14
52 歳				6						6
53 歳			2	1						3
54 歳				3	1					4
55 歳		1	2	1						4
56 歳			2	1						3
57 歳		2	2	2						6
58 歳		1		3						4
59 歳	1	1		6						8
計	1	5	13	75	73	68	56	96	1	388
平均年齢	59.0	57.2	53.2	49.5	42.9	35.1	28.7	22.3	45.0	36.2

※ 再任用職員 8 名、派遣等職員 5 名を除く。

職員研修・研修実施状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

機 関	区 分	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	司令長以上	合 計
消防大学校	幹部科					2		2
	救助科			1				1
	危険物科				1			1
	火災調査科				1			1
茨城県立消防学校	初任科	24						24
	警防科				2			2
	特殊災害科			2				2
	予防査察科			2	1			3
	火災調査科		2					2
	救急科	11						11
	救助科		1	2				3
	水難救助課程		1					1
	ポンプ操法指導者研修会			2				2
	気管挿管再講習			1	2			3
	基本特定行為再講習			6	6			12
救急救命研究所	救急救命士研修		2					2
	指導救命士研修				2			2
その他機関	MCLS講習			8	3	4		15
	JPTECプロバイダー講習	5						5
	BLS講習	4	1		1			6
	PEARS講習			1	2			3
	特定産業廃棄物管理責任者講習					3		3
	ロープレスキュー技能講習			2				2
	スイフトウォーターレスキュー			1	1			2
	NIRS放射線事故初動対応セミナー				2			2
	惨事ストレス初級研修					1		1
	潜水技術研修		1	1				2
組合共同研修	法制執務研修		1			2	1	4
	政策執務研修		1			2	1	4

組 合 予 算

1 令和2年度稲敷地方広域市町村圏事務組合一般会計予算額

歳 入 (千円)		構成比 (%)	歳 出 (千円)		構成比 (%)
分賦金及び負担金	3,738,754	82.06	議 会 費	3,490	0.08
使用料及び手数料	7,800	0.17	総 務 費	76,989	1.69
国庫支出金	51,800	1.14	消 防 費	4,192,771	92.02
県支出金	5,200	0.11	公 債 費	281,950	6.19
財産収入	35	0.00	予 備 費	900	0.02
寄付金	1	0.00			
繰入金	90,000	1.98			
繰越金	10,000	0.22			
諸収入	2,010	0.04			
組合債	650,500	14.28			
合 計	4,556,100	100	合 計	4,556,100	100

2 人口・世帯当りの消防費

区 分	消 防 予 算 (千円)	一人当りの 消防費(円)	一世帯当りの 消防費(円)	備 考	
				人 口	世 帯
平成28年度	3,824,466	13,035	33,994	293,391	112,505
平成29年度	3,612,226	12,391	31,850	291,500	113,412
平成30年度	3,465,449	11,957	30,262	289,819	114,513
令和元年度	3,512,173	12,187	30,393	288,185	115,557
令和2年度	4,192,771	14,647	35,965	286,249	116,577

相 互 応 援 協 定 状 況

締 結 先		締 結 年 月 日
茨 城 県	取 手 市 消 防 本 部	昭和57年 7月 6日
	つ く ば 市 消 防 本 部	昭和58年 9月 26日
	茨 城 県 広 域	平成元年 4月 1日
	茨城県高速自動車道等関係消防本部	平成19年 3月 10日
	土 浦 市 消 防 本 部	平成27年 9月 1日
	鹿行広域事務組合消防本部	平成30年 3月 5日
	常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	平成30年 3月 8日
千 葉 県	我 孫 子 市 消 防 本 部	昭和57年 1月 1日
	栄 町 消 防 本 部	平成18年 3月 6日
	香取広域市町村圏事務組合消防本部	平成18年 8月 29日
	成 田 市 消 防 本 部	平成21年 10月 30日
	千葉県首都圏中央連絡自動車道関係消防本部	平成27年 4月 12日
	印西地区消防組合消防本部	平成31年 2月 27日

予 防



● 第 6 回社会福祉施設等における夜間防火管理体制研修会

予防広報活動の紹介

予防課では、住民の生命や財産を火災や自然災害から守る為、店舗や病院、事業所への防火査察、避難訓練指導などの業務のほか、以下のような取組みを行い、火災による死傷者の低減、住宅火災の減少に努めています。

【社会福祉施設等における夜間防火管理体制研修会】

今回で第6回目の開催となった本研修会は、過去に研修会を受けた社会福祉施設の職員の方々をパネラーとして迎え、ディスカッションを行いました。



【違反是正の推進に係る実務研修【区分B】】

昨年度に引き続き、違反是正の推進に係る実務研修【区分B】を開催しました。県内各消防本部からの研修参加者は、違反処理の手法等を学び、実際の違反処理現場を体験しました。



【違反是正の推進に係る実務研修【区分B】報告会】

昨年度の実務研修【区分B】を受講した研修参加者が、自己本部での違反是正の成果を発表する場として開催しました。また、今回東京消防庁予防部査察課からアドバイザーを迎え、講演を行いました。



民間防火組織の活動紹介

当消防本部管内には、幼年消防クラブ 18 団体、少年消防クラブ 3 団体、婦人防火クラブ 2 団体が組織されています。幼年・少年消防クラブは火災予防運動期間中に消防職員と街頭広報活動を行い地域に貢献するとともに、このような活動を通して幼少期からの防火思想の育成に取り組んでいます。また、婦人防火クラブは、住宅用火災警報器の設置促進活動や応急手当技術の習得に積極的に取り組んでいます。

●主な行事内容

<p>令和元年 8 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 34 回茨城県幼年少年女性防火・防災大会 茨城県（日立市）において開催された防火大会に各団体の代表者が参加し、以下のとおり各部門で日頃の活動に対する表彰がありました。 優良民間防火組織表彰（しらはね保育園幼年消防クラブ） 優良民間防火組織指導者表彰（うしく文化認定こども園幼年消防隊） 優良民間防火組織クラブ員表彰（牛久市松ヶ丘婦人消防隊） 
<p>11 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋季火災予防運動（11 月 9 日～15 日） 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による一般家庭防火診断 龍ヶ崎市立城南中学校少年消防クラブ員による街頭広報 うしく文化認定こども園幼年消防隊員による街頭広報
<p>令和 2 年 3 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春季火災予防運動（3 月 1 日～7 日） 新型コロナウイルス感染防止対策に伴い各行事中止

幼年消防クラブ員(消防隊員)任命

稲敷広域消防本部では、当管内における幼稚園、保育園 18 施設の園児に対し幼年消防クラブ員（消防隊員）を任命し、防火思想の育成に取り組み、幼年消防クラブ員（消防隊員）とともに火災予防の啓発活動を行っております。



消防クラブ員による街頭広報

稲敷地方防火委員会に加盟する幼年・少年・婦人防火クラブによる街頭広報を春と秋の火災予防運動週間に実施し、火災予防及び住宅用火災警報器の設置推進を呼び掛けています。



市町村別危険物施設状況

令和2年3月31日現在

施設別 市町村別	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
龍ヶ崎市	8	35	25	1	32		24	4	32	24	185
牛久市	2	34	12		18		19	3	26	15	129
稲敷市	3	39	38	3	39	4	20	13	44	26	229
阿見町	7	54	58		24		16	63	27	36	285
利根町		1			3		5		6	4	19
河内町		4	4		4		3	1	9	8	33
美浦村	1	10	5	2	6		5		12	8	49
合計	21	177	142	6	126	4	92	84	156	121	929

危険物製造所等許可状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

施設別 区分	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
設置許可		9	1				1	1	1		13
変更許可	17	5	13		1		8		31	20	95
完成検査	17	15	14		2		7	1	33	21	110
合計	34	29	28		3		16	2	65	41	218

危険物規制事務等手数料

平成31年4月1日～令和2年3月31日

設置許可 手数料	変更許可 手数料	完成検査 手数料	タンク水圧 (水張) 手数料	仮使用手数料	仮貯蔵手数料	仮取扱手数料	合計
348	2,133	1,310.00	28	334.8		32.4	4,185.70

(単位：千円)

市町村別防火対象物現況

令和2年3月31日現在

市町村別		龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合計			
防火対象物（令別表第一）												
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2		3	2		1	8			
	ロ	公会堂又は集会場	32	46	37	44	8	9	17	193		
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの			1					1		
	ロ	遊技場又はダンスホール	8	6	8	3		1		26		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等										
	ニ	カラオケボックス等	3	3		1			1	8		
(3)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	2			1				3		
	ロ	飲食店	55	48	34	22	1	2		162		
(4)		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	107	118	55	69	11	4	9	373		
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	11	7	14	4	1		2	39		
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	648	565	40	347	12	6	83	1,701		
(6)	イ	(1)	内科、整形外科等の特定診療科を有し、療養病床又は一般病床を有する病院（消火活動を適切に実施できる体制を有するものを除く。）	1	4	1				1	7	
		(2)	内科、整形外科等の特定診療科を有し、4人以上の患者を入院させることができる診療所			1	1				2	
		(3)	(1)を除く病院、(2)を除く患者を入院させることができる診療所又は入所施設を有する助産所	10	1	9	10					30
		(4)	入院施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所	22	33	9	21	6		4		95
	ロ	(1)	老人短期入所施設、養護老人ホーム等（避難が困難な要介護者を主として入所させるもの。）	32	30	9	12	6	5	7		101
		(2)	救護施設									
		(3)	乳児院									
		(4)	障害者入所施設									
		(5)	障害者支援施設等（避難が困難な障害者等を主として入所させるもの。）	2	5			3	1	4		15
	ハ	(1)	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等（ロ(1)を除く。）	5	7	13	10	2	1	3		41
		(2)	更生施設									
		(3)	助産所、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設等	24	21	10	12	3	3	2		75
		(4)	児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設等	3	1							4
		(5)	身体障害者福祉センター、地域活動支援センター、障害者支援施設（ロ(5)を除く。）等	5	11	5	5		1	4		31
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	4	12	5	7	3		10		41	
	(7)		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	78	60	48	66	21	3	10		286
(8)		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	2	3	1	2	2		1		11	
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	2	1	1						4	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場										
(10)		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る。）	1	1							2	
(11)		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	16	16	7	3	7		1		50	
(12)	イ	工場又は作業場	228	139	342	178	31	67	67		1,052	
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ										
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	21	13	27	12	1	4	17		95	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	3			3					6	
(14)		倉庫	178	114	269	175	22	59	83		900	
(15)		前各項に該当しない事業場	250	263	233	235	28	62	238		1,309	
(16)	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	109	118	30	43	6	4	8		318	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	50	84	27	13	2	3	12		191	
(17)		重要文化財、重要有形民族文化財等	2	1	6		3				12	
合計			1,916	1,731	1,245	1,301	179	235	585		7,192	

法 届 出 状 況

市町村別 届出種別		龍	牛	稲	阿	利	河	美	合
		ヶ	久	敷	見	根	内	浦	計
		崎	市	市	町	町	町	村	
		市							
消 防 用 設 備 等 着 工 届		53	81	47	41	6	3	34	265
消 防 用 設 備 等 設 置 届		191	180	151	166	15	8	76	787
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届		185	137	49	80	18	8	10	487
統括防火管理者選任(解任)届			1						1
防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届		3			1				4
統括防災管理者選任(解任)届									
消 防 計 画 書 届		225	151	74	105	18	9	24	606
全体の消防計画書届出(統括防火)			2						2
防災管理に係る消防計画書		1							1
全体の消防計画書届出(統括防災)									
自衛消防組織設置届(変更)		9			3				12
圧縮アセチレン貯蔵取扱		24	7	4	8		2	1	46
無水硫酸貯蔵取扱									
液化石油ガス貯蔵取扱		16	16	3	6			3	44
生石灰貯蔵取扱				2			2		4
毒物貯蔵取扱									
劇物貯蔵取扱									
消防用設備等点検報告書		701	685	422	371	93	44	102	2,418
防火対象物点検結果報告書		68	46	24	24	2	3	7	174
防災管理定期点検結果報告書			6		9				15
本 部 受 付	消 防 用 設 備 等 着 工 届		1	3					4
	消 防 用 設 備 等 設 置 届	5	4	10					19
	消防用設備等特例申請書			2					2
	表示マーク交付(更新)申請書								
	表示制度対象外施設申請書								
	製造所等設置許可申請	4	3	3	3	1			14
	製造所等変更許可申請	17	9	32	25	2	2	7	94
	製造所等仮使用承認申請	13	5	28	12	1		7	66
	製造所等完成検査申請	17	9	27	25	3	2	8	91
	危険物規則に関する届等	46	70	80	92	14	13	20	335
合 計	1,578	1,413	961	971	173	96	299	5,491	

条 例 届 出 状 況

市町村別		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
届出種別									
防火対象物使用開始届		74	61	35	51	5	3	6	235
炉					1				1
厨房設備					1				1
温風暖房機				2	1			2	5
ボイラー・給湯湯沸設備		18	3	7	5			1	34
乾燥設備		1	2	1	6				10
サウナ設備									
ヒートポンプ冷暖房									
火花を生ずる設備									
放電加工機									
変電設備		23	19	12	7		3	5	69
発電設備		5	1	4	3	1			14
蓄電設備		8	5	6	6	4			29
ネオン管設備									
水素ガスを充填する気球									
火災と紛らわしい行為		51	14	46	13	14	8	9	155
煙火打ち上げ・仕掛け		12	9	15	17	8	22	3	86
催物開催		4	3	7	1	1		3	19
水道の断水・減水									
道路工事		322	176	136	222	37	38	102	1,033
露店の開設		35	35	32	20	25	4	13	164
指定洞道等の届出									
少量 指定 可燃 物	少量危険物貯蔵取扱	18	10	11	22	3		2	66
	移動タンク貯蔵取扱届								
	可燃性固体類			2					2
	石炭・木炭類		1						1
	可燃性液体類	1							1
	合成樹脂類	13	2	6	2				23
綿花・ぼろ・紙くず等									
合計		585	341	322	378	98	78	146	1,948

中高層建築物

令和2年3月31日現在

防火対象物（令別表第一）		階別														計			
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階					
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1														1		
	ロ	公会堂又は集会場	4														4		
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの																	
	ロ	遊技場又はダンスホール																	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																	
	ニ	カラオケボックス、その他遊興のための個室等																	
(3)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの																	
	ロ	飲食店	4														4		
(4)		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	8	1													9		
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	11	6	2					1		1					21		
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	265	84	96	26	11	5	2	3	2	3	5	2	4		508		
(6)	イ	(1) <small>内科、整形外科等の特定診療科名を有し、療養病床又は一般病床を有する病院（消防活動を適切に実施できる体制を有するものを除く。）</small>	1	2	1			2	1									7	
		(2) <small>内科、整形外科等の特定診療科名を有し、4人以上の患者を入院させることができる診療所</small>																	
		(3) <small>(1)を除く病院、(2)を除く患者を入院させることができる診療所又は入所施設を有する助産所</small>	18	2	3		1												24
		(4) <small>入院施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所</small>	2	1															3
	ロ	(1) <small>老人短期入所施設、養護老人ホーム等（避難が困難な要介護者を主として入所させるもの。）</small>	10	5	1														16
		(2) <small>救護施設</small>																	
		(3) <small>乳児院</small>																	
		(4) <small>障害者入所施設</small>																	
		(5) <small>障害者支援施設等（避難が困難な障害者等を主として入所させるもの。）</small>																	
	ハ	(1) <small>老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等（ロ(1)を除く。）</small>		1															1
		(2) <small>更生施設</small>																	
		(3) <small>助産所、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設等</small>	1																1
		(4) <small>児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設等</small>																	
		(5) <small>身体障害者福祉センター、地域活動支援センター、障害者支援施設（ロ(5)を除く。）等</small>																	
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校	2																2
	(7)	小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	85	27	4	2	4	1											123
(8)	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの																		
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場																	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場																	
(10)	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る。）																		
(11)	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	2		1														3	
(12)	イ	工場又は作業場	41	13	6						1							61	
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ																	
(13)	イ	自動車庫又は駐車場	1	1														2	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫																	
(14)	倉庫	9	1	3														13	
(15)	前各項に該当しない事業場	77	22	12	5		2											118	
(16)	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	74	8	6	8	1	2			1			1				101	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	58	15	12	2	3				2							92	
(17)	重要文化財、重要有形民族文化財等																		
合 計			674	189	147	43	22	11	3	7	3	3	6	2	4		1,114		

消防同意事務状況

防火対象物（令別表第一）		市町村別	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合計	
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	1						3	
	ロ	公会堂又は集会場		1	1			1	1	4	
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの									
	ロ	遊技場又はダンスホール			2					2	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
(3)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの									
	ロ	飲食店	1	3	1					5	
(4)		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	3	1	1	5				10	
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの				1				1	
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	2	2	3	9	1			17	
(6)	イ	(1)	内科、整形外科等の特定診療科名を有し、療養病床又は一般病床を有する病院（消火活動を適切に実施できる体制を有するものを除く。）								
		(2)	内科、整形外科等の特定診療科名を有し、4人以上の患者を入院させることができる診療所								
		(3)	(1)を除く病院、(2)を除く患者を入院させることができる診療所又は入所施設を有する助産所								
		(4)	入院施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所		1		2	1			4
	ロ	(1)	老人短期入所施設、養護老人ホーム等（避難が困難な要介護者を主として入所させるもの。）		1	2	1				4
		(2)	救護施設								
		(3)	乳児院								
		(4)	障害者入所施設								
		(5)	障害者支援施設等（避難が困難な障害者等を主として入所させるもの。）								
	ハ	(1)	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等（ロ(1)を除く。）		1		2				3
		(2)	更生施設								
		(3)	助産所、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設等	1	2						3
		(4)	児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設等								
		(5)	身体障害者福祉センター、地域活動支援センター、障害者支援施設（ロ(5)を除く。）等								
ニ	幼稚園又は特別支援学校										
(7)		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	1	1		2		1		5	
(8)		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの									
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場									
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場									
(10)		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る。）	2							2	
(11)		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	2		1		1			4	
(12)	イ	工場又は作業場	7	5	4	1	1		4	22	
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ									
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場		1	1			1		3	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫									
(14)		倉庫	1	3	15	8		1	2	30	
(15)		前各項に該当しない事業場	11	8	8	9	3	1	10	50	
(16)	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	1	4	1					6	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	2	1	1					4	
(17)		重要文化財、重要有形民族文化財等									
合 計			36	36	41	40	7	4	18	182	

民間防火組織一覽

1 幼年消防クラブ

令和2年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	龍ヶ崎文化幼稚園幼年消防隊	昭和59年11月27日	12	15	27
〃	龍ヶ崎つばめ保育園幼年消防隊（休園中）	平成15年6月2日	—	—	—
〃	ながと夢認定こども園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	23	15	38
〃	しらはね認定こども園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	10	13	23
牛久市	うしく文化認定こども園幼年消防隊	昭和59年7月1日	27	21	48
〃	牛久幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年9月13日	41	46	87
〃	ひたち野牛久幼稚園幼年消防クラブ	平成15年5月26日	27	25	52
阿見町	阿見認定こども園幼年消防クラブ	昭和61年8月1日	17	17	34
〃	荒川沖幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	21	27	48
〃	中郷保育所幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	18	9	27
〃	二区保育所幼年消防クラブ	昭和61年9月1日	5	16	21
〃	南平台保育所幼年消防クラブ	平成15年4月1日	7	7	14
〃	阿見みどり幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年4月1日	46	39	85
〃	ふたば幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年4月1日	29	33	62
〃	あゆみ保育園幼年消防クラブ	平成13年9月4日	11	15	26
〃	阿見ひかり保育園幼年消防クラブ	平成22年4月1日	17	10	27
〃	さくら保育園幼年消防クラブ	平成25年11月1日	16	14	30
利根町	利根大和幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年12月1日	4	5	9
合 計			331	327	658

2 少年消防クラブ

令和2年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市立城南中学校少年消防クラブ	昭和36年4月1日	12	12	24
〃	龍ヶ崎市立愛宕中学校少年消防隊	昭和36年8月26日	6	6	12
〃	龍ヶ崎市立城西中学校少年消防クラブ	平成7年6月1日	10	10	20
合 計			28	28	56

3 婦人防火クラブ

令和2年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市婦人防火クラブ連絡協議会 根町・田町・横町地区婦人防火クラブ 新町・米町地区婦人防火クラブ 下町・砂町地区婦人防火クラブ 上町・高砂・直鮎地区婦人防火クラブ 八原地区婦人防火クラブ 馴柴地区婦人防火クラブ 馴馬・川原代地区婦人防火クラブ 北文間地区婦人防火クラブ	平成元年9月27日	48
牛久市	牛久市松ヶ丘婦人消防隊	平成7年7月1日	4
合 計			52

警 防



● 航空機事故対応図上訓練

消防機動力

消防活動に欠かせない消防車両などの消防機械は、水槽付消防ポンプ自動車や救急車のほか、化学消防ポンプ自動車、梯子付消防自動車、救助工作車、水槽車などの特殊消防自動車、その他の車両、トライアルバイク、消防舟艇を管内に配置しています。

<p>化学消防ポンプ自動車 3台</p>  <p>化学消火薬剤を混合するため、1,500Lの水槽と500Lの薬液槽があり、泡放射が可能です。放水銃、耐熱服等、様々な資器材が装備されています。放水銃の搭載により大量放水ができるようになっています。</p>	<p>梯子付消防自動車 3台</p>  <p>中高層建物など高所での消火活動や、人命救助に使用されます。梯子は長さ40m、起立角度は75度から-10度まで可動し、高所だけでなく、水難事故等で停車位置よりも低い位置に要救助者がいる場合にも有効です。</p>	<p>救助工作車 3台</p>  <p>火災、交通事故、水難事故等の様々な現場において、人命救助活動に使用されます。特に、交通事故などで車両に閉じ込められた人を救助することが多く、クレーン、ウィンチ、油圧救助器具等を装備しています。</p>
<p>水槽車 1台</p>  <p>10tのステンレス製水槽と、小型動力ポンプが装備され、火災消火活動等で必要不可欠な水を各消防車両へ補給し、また飲料水としても使用できる水を積載していることから震災時等においても給水車として活用できます。</p>	<p>支援車 1台</p>  <p>後方支援用としての多機能を有し、大規模災害・広域応援などの多数傷病者が発生した救急現場や長時間活動が必要となる火災現場、過酷な救助活動が強いられる現場等に出場する車両です。</p>	<p>資機材搬送車 3台</p>  <p>大規模災害、特殊災害、水難事故等の災害種別に応じて、必要な資機材を現場へ迅速に搬送することができます。写真の車両には、最大荷重1,000kgの昇降装置が装備されており、少人数で荷物の積み下ろしができます。</p>

<p>水槽付消防ポンプ自動車 11 台</p>  <p>火災現場において主力となり、2,000ℓの水を積載し、消火栓や防火水槽を利用することなく、消火活動を行うことができます。<u>CAFS※</u>を使用することで、少ない水での消火活動が可能となります。(一部 CAFS 未装備車有)</p>	<p>消防ポンプ自動車 9 台</p>  <p>主に水槽付消防ポンプ自動車に水を送る中継車として使用されます。小型のため、狭隘地では火災現場へ最接近し、<u>CAFS※</u>と 600ℓの水槽の水を使用し、直ちに消火することができます。(一部 CAFS, 水槽未装備車有)</p>	<p>高規格救急車 16 台</p>  <p>救急救命士や救急隊員が、傷病者に対し救急活動を行うための車内空間と、救急救命処置に必要な救急資器材、固定装置、防振架台等を装備し救急処置拡大に対応できる構造になっています。</p>
<p>指揮車 7 台</p>  <p>災害現場で指揮を執る「指揮隊」が搭乗し運用します。出場と同時に、現場の詳細、出場隊の状況など多くの情報を取り入れ、的確な指揮命令を下すための資器材、通信機器等を装備しています。</p>	<p>トライアルバイク 20 台</p>  <p>オフロードタイプの二輪車で、地震などの大規模災害時には、道路における通行障害や交通渋滞を避けることができ、迅速な被害調査、状況把握等を行うことができます。</p>	<p>消防舟艇 12 艇</p>  <p>河川・湖沼にて発生した水難事故等において、迅速な救助及び検索活動を行います。水中探索機を装備しているため、水面からの水中検索にも威力を発揮します。</p>

※ CAFSとは、水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置で、水の表面積を広げることで効率良く消火することができます。

- 消防車両の更新基準 特殊車（化学車、梯子車、救助工作車）20 年
消防ポンプ車 15 年
救急車 10 年

この基準を基に走行距離、出場件数、性能維持、修繕履歴等を総合的に検討し、短縮又は延長を判断し更新しております。

消 防 車 両 等 の 配 置 状 況

令和2年4月1日現在

所属	車種別	登録番号	車名等	型式	排気量	配置年月日
消防本部	指揮車	土830さ1801	トヨタ	CBF-TRH226K改	2,690	H30. 3. 2
	指揮車	土800さ1902	ニッサン	DBA-NT32	1,990	R 1. 9.17
	支援車	土830す1722	日野	TKG-GD7JKAG	6,400	H29.11. 1
	連絡車(総務)	土502そ1456	トヨタ	DAA-ZWR80G	1,790	H28. 7. 1
	連絡車(総務)	土502ち3161	トヨタ	DAA-NKE165G	1,490	H30. 8. 1
	連絡車(予防)	土300ひ6447	ニッサン	UA-RC24	2,480	H15. 9.30
	連絡車(予防)	土331も2013	トヨタ	DAA-ZVW41W	1,790	H25. 9.20
	連絡車(予防)	土502た5552	トヨタ	DAA-NKE165G	1,490	H29.11. 1
	連絡車(救急)	土480け5264	ダイハツ	EBD-S321V	650	H28.10.23
	連絡車(警防)	土400て8618	ニッサン	BPF-VY12	1,490	H30. 8. 1
	連絡車(警防)	土800さ292	ニッサン	GF-A33	1,990	H11. 6.11
	連絡車(警防)	土501ふ9485	トヨタ	DBA-ZRR70G	1,980	H19. 9.14
龍ヶ崎署	化学車	土830す1810	日野	2KC-GX2ABA	5,120	H30.10.15
	救助工作車	土830さ2010	日野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H22. 2.22
	水槽付消防ポンプ車	土830さ1631	日野	SDG-GD7JGAA改	6,400	H28. 9. 8
	消防ポンプ車	土830す 50	日野	SKG-XZU685M	4,000	H24. 1.30
	消防ポンプ車	土800さ1751	日野	TKG-XZU685M	4,000	H29.12.13
	高規格救急車	土800さ1760	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H29.10. 4
	高規格救急車	土830さ1665	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H28.11.15
	指揮車	土830さ1680	トヨタ	CBF-TRH200K	1,990	H28. 1.20
	広報車	土800さ4434	ニッサン	KG-VWME24	3,150	H12. 9.21
	連絡車	土480う 155	スバル	LE-TV1	650	H18. 7.11
	資機材搬送車	土830せ1220	日野	TKG-XZU720M	4,000	H24.10.29
	資機材搬送車	土430ち 119	トヨタ	ABF-TRY230	1,990	H22. 2.22
	マイクロバス	土200さ1102	トヨタ	BDG-XZB51	4,000	H20. 7.25
	非常用救急車	土800す6193	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H19. 2.15
牛久署	梯子車	土 88さ1730	日野	U-PR2FNAF	17,230	H 6.11.22
	水槽付消防ポンプ車	土800は 469	ミツビシ	KK-FK61HGX	8,200	H15.12.17
	消防ポンプ車	土800は1018	日野	BDG-GD7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	消防ポンプ車	土830さ1453	日野	TKG-XZU685M	4,000	H26.12. 5
	高規格救急車	土830つ1971	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	R 1. 9. 2
	高規格救急車	土830さ1372	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H25.11.19
	指揮車	土830さ1981	トヨタ	CBF-TRH200K	1,990	H31.2.14
	連絡車	土501の1982	マツダ	DBA-DY3W	1,340	H18. 5.19
ボートトレーラー	土800る1083	シーマリントレーラ	—	—	H23. 5.23	
いなほ署	梯子車	土 88さ2156	日野	KC-FF1JKBA改	7,960	H 8.11. 5
	救助工作車	土830せ2015	日野	2KG-GX2ABA	5,120	R 2. 3.19
	水槽付消防ポンプ車	土830ら 119	日野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	消防ポンプ車	土830す 54	日野	BDG-XZU378M	4,000	H23. 1. 7
	高規格救急車	土830さ1262	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H24.12. 6
	高規格救急車	土830さ1569	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H27. 9.28
	指揮車	土830さ1482	トヨタ	CBF-TRH200K	1,990	H26. 1. 9
	広報車	土800す 857	ニッサン	UA-WFY11	1,490	H15. 8.29
	資機材搬送車	土400て8804	トヨタ	ABF-TRY230	1,990	H30. 9.20
	マイクロバス	土 22す3673	トヨタ	U-HDB51	4,160	H 7. 6.30
	ボートトレーラー	土800る 487	トレールライト	—	—	H15.10.29
	ボートトレーラー	土800る1092	シーマリントレーラ	—	—	H23. 7. 4
ボートトレーラー	土800る1053	シーマリントレーラ	—	—	H22. 8. 2	

消 防 車 両 等 の 配 置 状 況

令和2年4月1日現在

所属	車種別	登録番号	車名等	型式	排気量	配置年月日
阿見署	梯子車	土 88さ2177	日 野	KC-PR4FPDF	20,780	H 9. 1. 8
	化学車	土 830さ1518	日 野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H27. 3. 17
	救助工作車	土 830た1717	日 野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H29. 3. 9
	水槽車	土 830た 753	三 菱	FU413JD改	14,880	S61. 9. 29
	資機材搬送車	土 830さ1819	日 野	TPG-XZU722M	4,000	H30. 2. 28
	水槽付消防ポンプ車	土 800は1024	日 野	BDG-FR1APYA	8,860	H21. 3. 25
	消防ポンプ車	土 830さ1858	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H30. 9. 3
	高規格救急車	土 800す9390	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H26.10.16
	高規格救急車	土 800す8344	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H24. 3. 15
	指揮車	土 800す8993	ト ヨ タ	DBA-ZRR70G	1,980	H25. 9. 26
	広報車	土 880あ 490	ニ ッ サ ン	EBD-U71V	650	H25. 3. 28
	連絡車	土 300て9567	ト ヨ タ	GF-RZN185W	2,690	H13. 7. 24
	非常用消防車	土 88さ2322	日 野	KC-GD1JGBA改	7,960	H10. 1. 5
	非常用救急車	土 800す6255	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H19. 3. 14
	ボートトレーラー	土 800る1516	組 立	—	—	H30. 6. 26
	ボートトレーラー	土 800る1578	組 立	—	—	R 1. 7. 16
	利根署	水槽付消防ポンプ車	土 830す1334	日 野	SDG-GD7JGAA改	6,400
消防ポンプ車		土 830さ1655	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H28. 9. 20
高規格救急車		土 830さ1463	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H26.12. 4
指揮車		土 800す 864	ニ ッ サ ン	UA-TC24	1,990	H15. 9. 1
ボートトレーラー		土 800る1216	シーマリンクレーラ	—	—	H25. 8. 20
新河分署	化学車	土 830さ2012	日 野	LKG-FH1ALAA改	8,860	H24. 2. 15
	水槽付消防ポンプ車	土 830さ1537	日 野	SDG-GD7JGAA改	6,400	H27. 9. 11
	消防ポンプ車	土 830さ1457	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H26. 2. 7
	高規格救急車	土 830つ 66	ニ ッ サ ン	CBF-FPWGE50改	3,490	H22. 2. 15
	広報車	土 800す6647	ニ ッ サ ン	DBA-Y12	1,490	H20. 1. 9
	資機材搬送車	土 400て5582	ト ヨ タ	ABF-TRY230	1,990	H28. 9. 29
	ボートトレーラー	土 800る1054	シーマリンクレーラ	—	—	H22. 8. 12
桜東分署	水槽付消防ポンプ車	土 830さ1441	日 野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H26. 1. 10
	消防ポンプ車	土 830そ 56	日 野	BDG-XZU378M	4,000	H23. 1. 7
	高規格救急車	土 830ゆ 119	ニ ッ サ ン	CBF-FPWGE50改	3,490	H21. 1. 15
	広報車	土 800さ1890	ト ヨ タ	CBF-TRH200V	1,990	H30. 1. 18
	資機材搬送車	土 800す6416	ミ ツ ビ シ	PDG-FE82D	4,890	H19. 7. 6
	非常用救急車	土 830た 71	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H22. 3. 25
龍西所	水槽付消防ポンプ車	土 800は 969	ミ ツ ビ シ	PDG-FL63FX改	7,540	H20. 1. 22
	高規格救急車	土 830て 64	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H23. 1. 21
	広報車	土 800さ6655	ニ ッ サ ン	TC-VW11	1,760	H13. 6. 21
牛東所	水槽付消防ポンプ車	土 800は 919	ミ ツ ビ シ	PA-FL63FX改	7,540	H19. 2. 21
	高規格救急車	土 830さ1867	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H30.10.23
	広報車	土 830さ1487	ト ヨ タ	CBF-TRH199V	1,989	H26.12.11
	非常用消防車	土 800は 70	ミ ツ ビ シ	KK-FK61HGX	8,200	H12. 1. 17

主 な 消 防 器 具 等

令和2年4月1現在

	器 具 名	本 部	消防署	分署	出張所	合 計
救 助 器 具	救 助 ボ ー ト		7	3		10
	救 助 用 水 上 バ イ ク		2			2
	検 索 用 探 知 機		6	2		8
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー		19	4	2	25
	チ ェ ー ン ソ ー		24	4	2	30
	エ ア ー ソ ー		4			4
	空 気 切 断 機		2			2
	油 圧 ス プ レ ッ タ ー		5	1		6
	油 圧 カ ッ タ ー		5	1		6
	マ ッ ト 型 エ ア ー ジャ ッ キ		4	1		5
	送 排 風 機	1	9			10
	削 岩 機		7			7
	ガ ス 溶 断 機		2			2
	ハ ン マ ー ド リ ル		5			5
	救 命 索 発 射 銃		9			9
	地 中 音 響 探 知 機		2			2
	熱 画 像 直 視 装 置		9	2		11
	夜 間 暗 視 装 置		2			2
	地 震 警 報 器		1			1
	画 像 探 索 機 I 型		1			1
画 像 探 索 機 II 型		3			3	
簡 易 画 像 探 索 機		2			2	
潜 水 具 一 式		12			12	
可 搬 式 ウ ィ ン チ		11	2	2	15	
保 護 器 具	耐 熱 防 護 服		10	4		14
	耐 電 用 防 護 服		16	5	4	25
	毒 劇 物 防 護 服		20			20
	放 射 線 防 護 服		7			7
	除 染 シ ャ ワ ー		2			2
	空 気 呼 吸 器		115	28	18	161
酸 素 呼 吸 器		10			10	
測 定 器 具	可 燃 性 ガ ス 測 定 器		10	2	2	14
	有 毒 ガ ス 測 定 器		6			6
	放 射 線 測 定 器		19	2	2	23
	ポ ケ ッ ト 線 量 計		40	10	10	60
救 急 器 具	血 糖 測 定 器		11	3	2	16
	除 細 動 器	1	23	5	4	33
	自 動 心 臓 マ ッ サ ー ジ 器		4	3		7
	観 察 用 モ ニ タ ー		12	3	2	17
	人 工 呼 吸 器		11	3	2	16
そ の 他	ミ ス ト フ ェ ン	1				1
	ド ロ ー ン	3				3
	呼 吸 器 用 高 圧 空 気 圧 縮 機		3			3
	非 常 用 ろ 過 器		5			5

消防隊の主な訓練及び講習会等

火災，救助等の多種多様な災害に対応するためには，車両や資機材等の充実を図ることが必要ですが，災害による被害を最小限に止めるためには，それらを有効に活用するための訓練が必要です。年間を通じて各種訓練等を行い災害対応力の向上に努めています。

災害活動シミュレーション

この訓練は，建物火災等の災害において先着中隊長が指揮隊到着までに行う状況判断，具体的な指示・下命及び情報伝達について，現場写真等を活用してシミュレーションを行い，中隊長の災害対応力の強化を図る訓練です。



震災対応訓練

この訓練は，管内において震度6強以上の地震に伴い多発する災害及びライフライン等の被害を想定し，大地震に対する防災機関相互の緊密な連携を確立するとともに，危機管理体制の強化及び防災行動力の向上を図る訓練です。



消防車両整備取扱講習会

この講習会は，消防車両装備等の整備方法や圧縮空気泡消火装置（CAFS）の知識を習得し，整備不足等による故障の未然防止，緊急時の不具合等への対処，CAFSの有効活用を目的として実施しています。



高度救助隊訓練

高度救助隊は、専門的な知識・技術を有した隊員と高度救助用資機材等の装備・救助工作車で編成し、より高度な人命救助をはじめ、大規模災害や特殊な災害に即座に対応できるよう常日頃から訓練を行っています。



特殊災害対応訓練

この訓練は、放射性物質、生物剤、化学剤などが漏洩、飛散、流出した災害発生時における組織対応力の向上を図ることに重点を置き、防護服の確実な着脱、危険区域の設定、除染テントの設置及び除染方法の習得、初動対応能力の強化を目的とした訓練です。



水防訓練

この訓練は、台風時期などに河川や湖沼の水位上昇に伴う水害の被害を最小限に抑えるため、積土のう工法、繋ぎ縫い工法、月の輪工法、釜段工法など各水防工法を実施し、水防技術の向上と水防機関相互の協力体制の確立を図る訓練です。



総 出 場 状 況

種 別		件 数	車 両 数	延 人 員	
火 災	建 物	51	361	1,172	
	林 野	3	14	46	
	車 両	18	105	342	
	航 空 機	0	0	0	
	船 舶	0	0	0	
	そ の 他	54	242	790	
	火 災 合 計	126	722	2,350	
救 助		202	716	2,267	
救 急 支 援		1,931	2,167	7,565	
風 水 害 等		64	64	216	
演 習 訓 練		221	284	995	
広 報 活 動 ・ 訓 練 指 導		645	825	2,544	
警 防 調 査		534	555	1,834	
火 災 調 査		115	188	614	
特 別 警 戒		63	83	242	
捜 索		0	0	0	
予 防 査 察		1,385	1,453	4,590	
そ の 他	非 火 災	誤 報 ・ 誤 認 等	227	418	1,410
		い た ず ら	3	6	21
		自 火 報 調 査	34	63	216
		怪 煙 偵 察	4	4	16
		そ の 他	57	100	321
		非 火 災 合 計	325	591	1,984
	の 他	危 険 排 除	59	64	223
		各 種 検 査	410	479	1,339
		各 種 調 査	234	247	717
		蜂 の 巣 駆 除	3	6	19
		危 険 物 流 出 事 故	24	26	100
		圏 域 外 応 援 出 場	8	19	65
		そ の 他	315	400	1,355
		そ の 他 の 合 計	1,378	1,832	5,802
合 計		6,664	8,889	29,019	

※救急出動状況については、救急関係に記載しています。

所 属 別 火 災 出 動 状 況

管内別	種 別 区 別 車 両別	建物火災		林野火災		車両火災		その他の火災		計	
		車 両	人 員	車 両	人 員	車 両	人 員	車 両	人 員	車 両	人 員
		台	人	台	人	台	人	台	人	台	人
本部	指 揮 車	34	90	3	9	9	24	42	107	88	230
	そ の 他 の 車 両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
龍ヶ崎署	化 学 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救 助 工 作 車	4	9	0	0	0	0	1	3	5	12
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	19	85	1	3	2	10	16	71	38	169
	消 防 ポ ン プ 車	17	68	0	0	3	12	6	28	26	108
	指 揮 車	5	17	0	0	0	0	3	10	8	27
	救 急 車	18	58	1	4	2	6	13	43	34	111
	そ の 他 の 車 両	6	11	1	2	2	6	5	14	14	33
龍西所	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	7	21	0	0	2	6	6	18	15	45
	救 急 車	12	48	1	4	3	12	8	34	24	98
	広 報 車	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3
新河分署	化 学 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	13	47	0	0	4	12	6	22	23	81
	消 防 ポ ン プ 車	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3
	救 急 車	7	24	0	0	3	9	3	9	13	42
	広 報 車	2	6	0	0	0	0	0	0	2	6
牛久署	梯 子 車	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消 防 ポ ン プ 車	18	75	0	0	8	34	6	26	32	135
	指 揮 車	13	44	0	0	6	21	9	32	28	97
	救 急 車	5	13	0	0	1	4	2	6	8	23
牛東所	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	4	12	0	0	3	9	1	3	8	24
	救 急 車	19	78	1	4	6	24	11	46	37	152
	広 報 車	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3
いなほ署	梯 子 車	1	1	0	0	0	0	1	1	2	2
	救 助 工 作 車	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	12	37	0	0	8	24	10	30	30	91
	消 防 ポ ン プ 車	18	61	2	7	6	20	16	54	42	142
	指 揮 車	15	46	1	3	6	18	14	42	36	109
	救 急 車	10	24	0	0	4	10	7	19	21	53
	広 報 車	8	24	0	0	7	21	5	15	20	60
	そ の 他 の 車 両	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2
桜東分署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	4	8	0	0	1	0	0	0	5	8
	消 防 ポ ン プ 車	7	23	0	0	3	9	7	22	17	54
	救 急 車	6	20	0	0	2	6	4	13	12	39
	広 報 車	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3
阿見署	水 槽 車	5	7	0	0	0	0	3	5	8	12
	梯 子 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化 学 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救 助 工 作 車	10	32	1	4	5	18	8	26	24	80
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	9	27	0	0	3	9	1	3	13	39
	消 防 ポ ン プ 車	1	3	0	0	3	9	12	38	16	50
	指 揮 車	7	21	1	3	2	6	2	6	12	36
	救 急 車	4	6	1	3	0	0	2	6	7	15
そ の 他 の 車 両	8	24	0	0	1	3	1	3	10	30	
利根署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	13	47	0	0	0	0	6	22	19	69
	消 防 ポ ン プ 車	6	20	0	0	0	0	4	12	10	32
	指 揮 車	2	6	0	0	0	0	0	0	2	6
	救 急 車	5	10	0	0	0	0	1	1	6	11

救助事故種別出動件数及び活動件数

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
	出動件数	39	29	74	14	1	4	31			10	202
	活動件数	31	24	28	8	1	2	15			6	115

救助事故種別救助人員及び車両搬送人員

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
	救助人員	5	3	33	7	1	2	15			6	72
搬送車両等の内訳	救急自動車	2	1	28	3		2	11			4	51
	ヘリコプター			2								2
	消防機関のその他車両等											
	消防機関以外の車両等			1								1
	計	2	1	31	3		2	11			4	54

救助事故種別出動人員及び活動人員

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出動人員	専任救助隊員	125	93	255	45	4	13	99			28	662
	兼任救助隊員	20	9	43	3		2	7			12	96
	消防隊員	869	527	463	172	7	25	50			19	2,132
	救急隊員	135	69	335	57	6	12	86			31	731
	計	1,149	698	1,096	277	17	52	242			90	3,621
活動人員	専任救助隊員	57	48	84	19		3	49			13	273
	兼任救助隊員	17	6	17							12	52
	消防隊員	239	99	141	53	4	13	35			14	598
	救急隊員	36	12	116	27	3	6	36			16	252
	計	349	165	358	99	7	22	120			55	1,175

救助事故種別発生場所別出動件数

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居			23					27			2	52
	その他の屋内	12	1					3	2			1	19
屋外	道路	高速自動車道			2								3
		その他の道路		6	67		1						74
	水面	内水面					14						14
		外水面											
	山岳												
その他の屋外	3	22	5					3			6	39	
地下													
その他												1	1
計		38	30	74	14	1	3	32				10	202

救助事故種別発生場所別活動件数

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居			17					14			1	32
	その他の屋内	8	1					2					11
屋外	道路	高速自動車道			1								1
		その他の道路		6	23		1						30
	水面	内水面					8						8
		外水面											
	山岳												
その他の屋外	2	15	4					1			5	27	
地下													
その他													
計		27	22	28	8	1	2	15				6	109

救助事故種別発生場所別救助人員

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居			4					14			1	19
	その他の屋内	1						2					3
屋外	道路	高速自動車道			1								1
		その他の道路		2	24		1						27
	水面	内水面					7						7
		外水面											
	山岳												
その他の屋外		1	6					1			5	13	
地下													
その他													
計		5	3	31	7	1	2	15				6	70

救助事故種別出動車両台数

区分	火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自 然災害	機械等 によ る事故	建物等 によ る事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外									
救助工作車	35	28	76	13	1	4	28			8	193
消防ポンプ車	176	101	50	20	1	4	7			6	365
梯子車	1										1
化学車	17	12	32	5	1		3				70
指揮車・広報車	77	43	75	24		5	6			3	233
救急車	42	21	108	19	2	4	28			10	234
船舶				15							15
その他	10	1		18			1				30
計	358	206	341	114	5	17	73			27	1,141

救助事故種別活動車両台数

区分	火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自 然災害	機械等 によ る事故	建物等 によ る事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外									
救助工作車	15	13	24	5	1	1	14			4	77
消防ポンプ車	48	22	19	5	1	2	4			6	107
梯子車											
化学車	6	4	9	1	1		2				23
指揮車・広報車	25	6	19	9		2	4			1	66
救急車	10	3	37	9	2	2	10			5	78
船舶				4							4
その他	2			5			1				8
計	106	48	108	38	5	7	35			16	363

救助隊員の訓練実施状況

訓練種別	区分	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体力練成		625	1,722	579:20
ロープ基本・応用訓練		291	1,100	467:50
検索・救助訓練		67	255	85:55
各種救助器具取扱		422	1,548	613:20
各種救助事象想定訓練		275	1,257	439:50
その他の訓練		1,161	4,882	2203:20
計		2,841	10,764	4389:35

圏域内市町村別消防水利施設設置状況

令和2年1月1日現在

種別 市町村名	消防水利 現有数	防火水槽			消火栓		その他の 水利 プール 自然水利
		公設	公設耐震 飲料水兼用	私設	公設	私設	
龍ヶ崎市	979	344	3	84	534	14	21
牛久市	1,064	403	3	42	615	1	1
稲敷市	1,549	518	4	77	950	0	8
阿見町	1,359	279	1	162	914	3	11
利根町	418	148	2	0	268	0	4
河内町	245	56	0	4	185	0	0
美浦村	563	114	0	76	329	44	3
合計	6,177	1,862	13	445	3,795	62	48

通信



●高機能消防指令センター

通信指令の業務

高機能消防指令センターでは、位置情報通知システム、自動出動指定装置、地図検索装置などの通信施設を活用し、119番受付から消防隊・救急隊・救助隊への出場指令、現場活動への支援情報の提供のほか、関係機関への連絡、市民への災害情報提供など一連の業務を迅速かつ確実にを行っています。

指令システム

119番通報の受信から出場まで



119通報

災害の通報は、119番通報、消防署所への駆け付け通報、緊急通報システム、NET119緊急通報システム、FAX119受信システムからの通報、警察などからの通報があります。



通報受付

災害場所を短時間で特定する事が被害の軽減につながることから、位置情報通知システムや地図検索装置を活用しています。

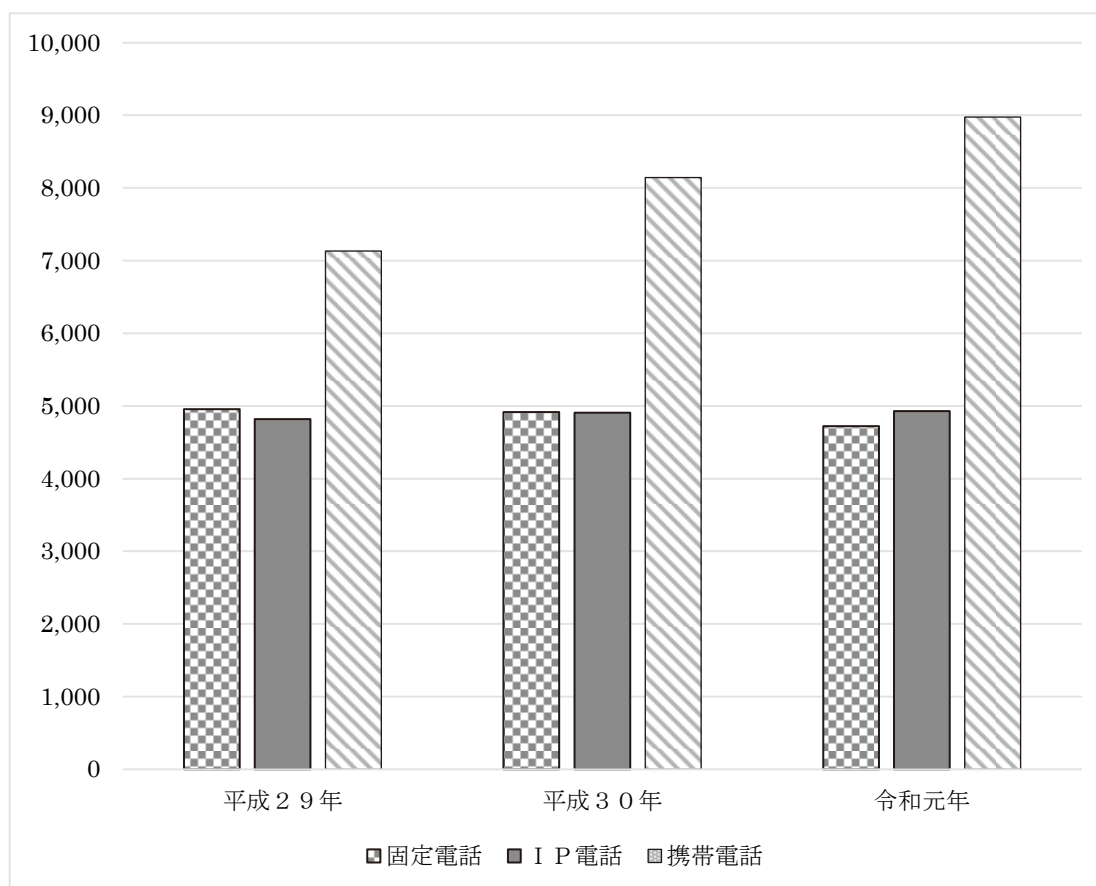


出場指令

自動出動指定装置、出動車両運用管理装置を活用し、災害種別、規模に応じた直近の消防隊などを自動編成し、正確な情報の伝達と的確な出場指令を行います。

1 1 9 番通報電話機別の推移

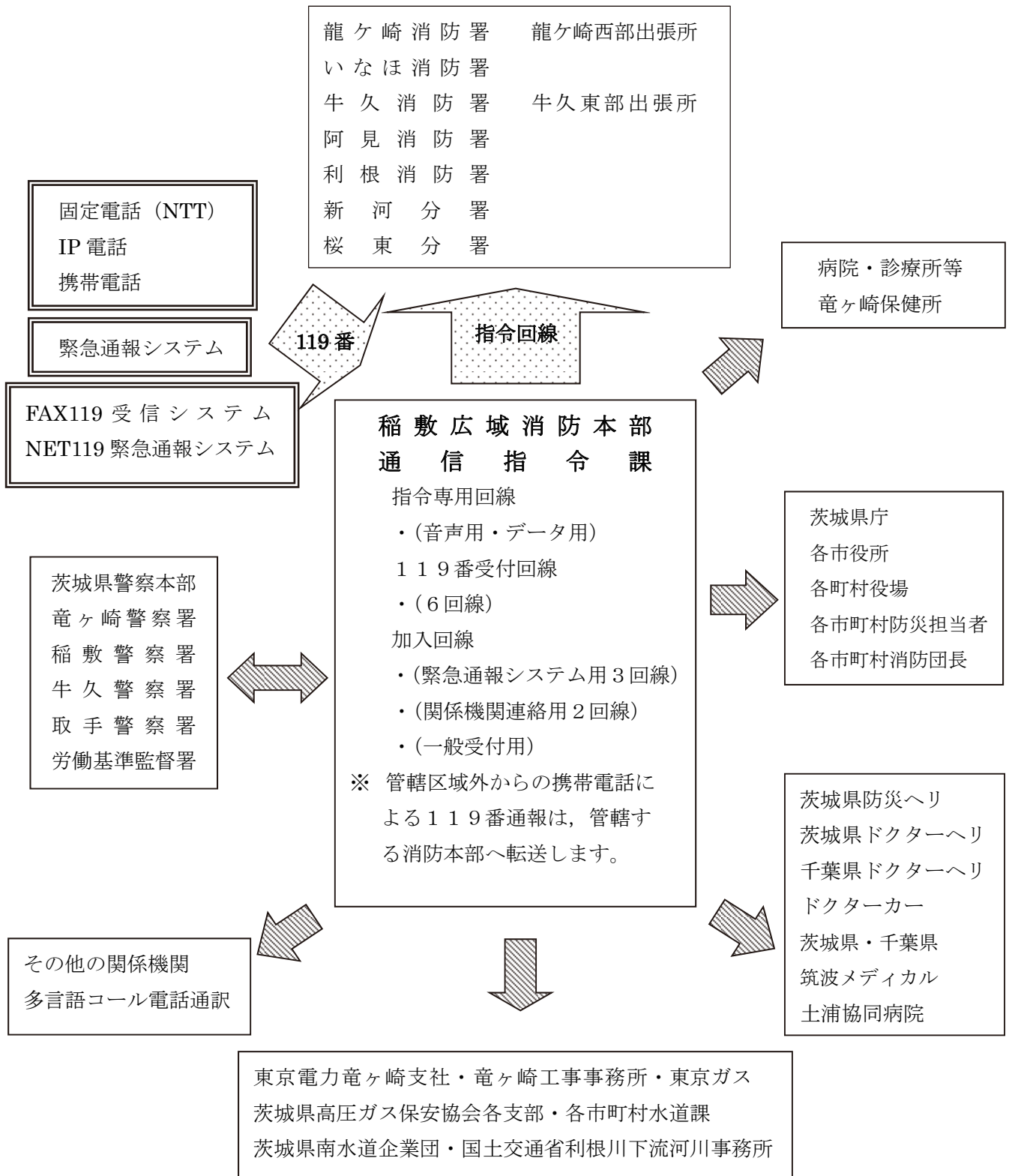
年次 区 分	平成 2 9 年	平成 3 0 年	令和元年
固定電話	4,956	4,930	4,723
I P 電話	4,817	4,906	4,927
携帯電話	7,131	8,144	8,974
計	16,904	17,980	18,624



携帯電話からの119番通報割合は、平成29年中は42.2%、平成30年中は45.3%、令和元年中は48.2%と年々増加の傾向が見られます。

通 信 系 統

令和2年4月1日現在



凡 例	
専用回線	
加入回線	

通 信 施 設 状 況

令和2年4月1日現在

装 置 名		数 量	備 考
指 令 装 置	指 令 台	2台	分離設置型
	自 動 出 動 指 定 装 置	1式	
	地 図 検 索 装 置	2台	
	長 時 間 録 音 装 置	1台	
	非 常 用 指 令 装 置	1台	
	指 令 制 御 装 置	1式	
指 揮 台	指 揮 台	1台	指令台同機能型
	地 図 等 検 索 装 置	1台	
表 示 盤	車 両 運 用 表 示 盤	1面	70インチ液晶プロジェクタ
	支 援 情 報 表 示 盤	1面	LED固定表示方式
	多 目 的 情 報 表 示 装 置	1面	液晶ディスプレイ9面構成
無 線 拡 張 台	無 線 拡 張 台	1台	遠隔制御器(3台)
指 令 伝 送 装 置	指 令 情 報 送 信 装 置	1式	
気 象 情 報 収 集 装 置		1式	
災 害 情 報 等 自 動 案 内 装 置		1式	音声合成連動
順 次 指 令 装 置		1式	音声合成連動・Eメール対応
音 声 合 成 装 置		1式	規則・蓄積併用方式
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置		1式	Ⅲ型
シ ス テ ム 監 視 装 置		1式	
電 源 設 備	無 停 電 電 源 装 置	1式	5KVA×2系統
	直 流 電 源 装 置	1式	DC-48V
	非 常 用 発 動 発 電 機	1式	7.5KVA
	誘 導 雷 防 止 装 置	1式	
統 合 型 位 置 情 報 受 信 装 置		1式	
1 1 9 受 信 F A X		1式	
無 線 設 備		1式	基地局装置
茨城県救急医療情報コントロール装置		1式	
ひとり暮らし緊急通報システム受信装置		1式	
茨城県防災情報ネットワークシステム端末装置		1式	
N E T 1 1 9 緊 急 通 報 シ ス テ ム		1式	

119番着信件数

区分	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
固定電話	466	359	415	370	353	318	424	422	440	397	409	350	4,723
I P 電話	520	364	383	376	384	357	436	417	394	431	404	461	4,927
携帯電話	882	657	684	691	704	645	755	854	876	749	663	814	8,974
月 計	1,868	1,380	1,482	1,437	1,441	1,320	1,615	1,693	1,710	1,577	1,476	1,625	18,624

災害出場指令件数

区分	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
火 災	34	21	22	14	16	12	8	12	17	20	16	26	218
救 急	1,373	1,043	1,062	1,055	1,021	961	1,176	1,249	1,150	1,034	1,101	1,219	13,444
救 助	11	13	10	6	14	9	19	9	6	16	11	14	138
その他	72	53	58	33	37	40	43	50	161	88	47	58	740
月 計	1,490	1,130	1,152	1,108	1,088	1,022	1,246	1,320	1,334	1,158	1,175	1,317	14,540

※ 救急指令件数には、救急支援及び救急救助指令を含みます。

無線局一覧表

基地局名称	活動波	共通波	送信出力
いなしきしょうぼう	活動波1 活動波2 活動波4	主運用波 統制波 1, 2, 3	10W
いなしきしょうぼうあみ	活動波2 活動波3 活動波4	主運用波 統制波 1, 2, 3	10W
いなしきしょうぼうたかだ	活動波2 活動波3 活動波4	主運用波 統制波 1, 2, 3	10W

所属	移動局名称(車載, 可搬, 固定型)	車種別	移動局名称(携帯型)	備考
消防本部	いなしき1	指揮車	いなしき101, 102	指揮本部用 通信指令課
	いなしき2	指揮車		
	いなしきしえん1	支援車		
	いなしき501			
	いなしきこてい1			
龍ヶ崎消防署	りゅうがさきしき1	指揮車	いなしきかがく101	指揮本部用
	いなしききゅうじょ1	救助工作車	いなしききゅうじょ101, 102	
	りゅうがさき1	化学車	りゅうがさき101, 102	
	りゅうがさき2	水槽付消防ポンプ車	りゅうがさき103	
	りゅうがさき3	消防ポンプ車	りゅうがさき104	
	りゅうがさき4	消防ポンプ車	りゅうがさき105	
	りゅうがさききゅうきゅう1	高規格救急車		
	りゅうがさききゅうきゅう2	高規格救急車		
	りゅうがさきはんそう1	資機材搬送車		
	いなしき301			
新河分署	いなしきかがく2	化学車	いなしきかがく201	指揮本部用
	しんかわ1	水槽付消防ポンプ車	しんかわ101, 102	
	しんかわ2	消防ポンプ車	しんかわ103	
	しんかわきゅうきゅう1	高規格救急車		
	しんかわこうほう1	広報車		
	いなしき306			

所属	移動局名称(車載, 可搬, 固定型)	車種別	移動局名称(携帯型)	備考
龍ヶ崎西部出張所	りゅうがさき5	水槽付消防ポンプ車	りゅうがさきせいぶ101	指揮本部用
	りゅうがさききゅうきゅう3	高規格救急車		
	りゅうがさきせいぶこうほう1	広報車		
	いなしききゅうきゅう1	非常用救急車		
	いなしき308			
利根消防署	とねしき1	指揮車		指揮本部用
	とね1	水槽付消防ポンプ車	とね101, 102	
	とね2	消防ポンプ車	とね103, 104	
	とねきゅうきゅう1	高規格救急車		
	いなしき305			
牛久消防署	うしくしき1	指揮車		指揮本部用
	いなしきはしご1	梯子車	いなしきはしご101	
	うしく1	水槽付消防ポンプ車	うしく101, 102	
	うしく2	消防ポンプ車	うしく103, 104	
	うしく3	消防ポンプ車	うしく105	
	うしくきゅうきゅう1	高規格救急車		
	うしくきゅうきゅう2	高規格救急車		
いなしき302				
牛久東部出張所	うしく4	水槽付消防ポンプ車	うしくとうぶ101	指揮本部用
	うしくきゅうきゅう3	高規格救急車		
	うしくとうぶこうほう1	広報車		
	いなしき3	非常用消防車		
	いなしき309			

所属	移動局名称(車載, 可搬, 固定型)	車種別	移動局名称(携帯型)	備考
阿見消防署	あみしき1	指揮車		
	いなしききゅうじよ3	救助工作車	いなしききゅうじよ301, 302	
	いなしきはしご3	梯子車	いなしきはしご301	
	あみ1	化学車	あみ101	
	あみ2	消防ポンプ車	あみ102	
	あみ3	水槽付消防ポンプ車	あみ103	
	あみきゅうきゅう1	高規格救急車		
	あみきゅうきゅう2	高規格救急車		
	いなしききゅうきゅう2	非常用救急車		
	あみはんそう1	資機材搬送車		
	いなしき4	非常用消防車		
いなしき304			指揮本部用	
いなほ消防署	いなほしき1	指揮車		
	いなしききゅうじよ2	救助工作車	いなしききゅうじよ201, 202	
	いなしきはしご2	梯子車	いなしきはしご201	
	いなほ1	水槽付消防ポンプ車	いなほ101, 102	
	いなほ2	消防ポンプ車	いなほ103	
	いなほきゅうきゅう1	高規格救急車		
	いなほきゅうきゅう2	高規格救急車		
	いなほこうほう1	広報車		
	いなしき303			
桜東分署	おうとう1	水槽付消防ポンプ車	おうとう101, 102	
	おうとう2	消防ポンプ車	おうとう103	
	おうとうきゅうきゅう1	高規格救急車		
	おうとうこうほう1	広報車		
	おうとうはんそう1	資機材搬送車		
	いなしききゅうきゅう3	非常用救急車		
	いなしき307			

※ 送信出力 車載型, 可搬型, 固定型(5W) 携帯型(2W)

署活動系携帯無線機(アナログ)

所 属	移 動 局 名 称	隊 名	車 種 別
消 防 本 部	いなしき10, 11, 12, 13	稲敷1	指揮車
龍 ヶ 崎 消 防 署	りゅうがさき10	龍ヶ崎指揮1	指揮車
	いなしきかがく11, 12		
	いなしききゅうじょ11, 12, 13	稲敷救助第1	救助工作車
	りゅうがさき11, 12, 13	龍ヶ崎第1	化学車
	りゅうがさき21, 22, 23	龍ヶ崎第2	水槽付消防ポンプ車
	りゅうがさき31, 32, 33	龍ヶ崎第3	消防ポンプ車
	りゅうがさき41, 42, 43	龍ヶ崎第4	消防ポンプ車
新 河 分 署	いなしきかがく21	稲敷化学第2	化学車
	しんかわ11, 12, 13	新河第1	水槽付消防ポンプ車
	しんかわ21, 22, 23	新河第2	消防ポンプ車
龍ヶ崎西部出張所	りゅうがさき51, 52, 53	龍ヶ崎第5	水槽付消防ポンプ車
利 根 消 防 署	とね10	利根指揮1	指揮車
	とね11, 12, 13	利根第1	水槽付消防ポンプ車
	とね21, 22, 23	利根第2	消防ポンプ車
牛 久 消 防 署	うしく10	牛久指揮1	指揮車
	いなしきはしご11, 12	稲敷梯子第1	梯子車
	うしく11, 12, 13	牛久第1	水槽付消防ポンプ車
	うしく21, 22, 23	牛久第2	消防ポンプ車
牛久東部出張所	うしく31, 32, 33	牛久第3	消防ポンプ車
	うしく41, 42, 43	牛久第4	水槽付消防ポンプ車
阿 見 消 防 署	あみ10	阿見指揮1	指揮車
	いなしききゅうじょ31, 32, 33	稲敷救助第3	救助工作車
	いなしきはしご31, 32	稲敷梯子第3	梯子車
	あみ11, 12, 13	阿見第1	化学車
	あみ21, 22, 23	阿見第2	消防ポンプ車
い な ほ 消 防 署	あみ31	阿見第3	水槽付消防ポンプ車
	いなほ10	いなほ指揮1	指揮車
	いなしききゅうじょ21, 22, 23	稲敷救助第2	救助工作車
	いなしきはしご21, 22	稲敷梯子第2	梯子車
	いなほ11, 12, 13	いなほ第1	水槽付消防ポンプ車
桜 東 分 署	いなほ21, 22, 23	いなほ第2	消防ポンプ車
	おうとう11, 12, 13	桜東第1	水槽付消防ポンプ車
	おうとう21, 22, 23	桜東第2	消防ポンプ車

緊急通報システム受信状況

市町村別	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合計	
加入者数	348	108	147	222	71	56	76	1,028	
通報件数		200	60	66	24	36	53	33	472
	火 災	0	0	0	0	0	0	0	0
	救 急	46	25	13	24	4	7	14	133
	その他通報 (相談, 誤報等)	154	35	53	/	32	46	19	339

※阿見町は緊急通報システム委託のため、受信センターからの要請件数となります。

NET119受信状況

市町村別	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合計
加入者数	12	20	6	12	7	1	3	61
通報件数		0	0	1	0	0	0	1
	火 災	0	0	0	0	0	0	0
	救 急	0	0	0	0	0	0	0
	その他通報	0	0	0	1	0	0	0

気象警報注意報発令調

通信指令課観測

種別	区分	月別												計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
特別警報	大雨特別警報 (浸水害)														0
	大雨特別警報 (土砂災害)														0
	暴風雨特別警報														0
	緊急地震速報 (特別警報)														0
	その他特別警報														0
警報	暴風警報										1	1			2
	大雨警報										2	3			5
	水防警報														0
	洪水警報										1	4			5
	大雪警報														0
	竜巻警報														0
	地震・津波警報														0
注意報	強風注意報	8	5	6	4	2	1	3		3	4	3	4	43	
	大雨注意報			1	1	1	2	2	4	5	4	3		23	
	大雪注意報	1	2											3	
	雷注意報	2	1	7	9	9	11	12	18	7	6	4	2	88	
	洪水注意報					1			1	2	8	2	1	15	
	乾燥注意報	3	7	4	4	1						1		20	
	濃霧注意報		5	4	5	12	13	16	13	13	5	6	8	100	
	霜注意報			1	13							11		25	
	低温注意報	15	2											17	
	竜巻注意報													0	
	大雪着雪注意報													0	
	大雪着氷注意報													0	
	大雪風雪注意報													0	
合計		29	22	23	36	26	27	33	36	34	35	30	15	346	

※ 緊急地震速報の特別警報は震度6弱以上

※ その他の特別警報内訳 高潮 波浪 暴風雪 大雪 噴火

月別風速・気温・湿度・雨量調

風 速 (m/s)

通信指令課観測

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大風速	7 m/s未満	6	4	2	0	1	1	8	3	3	7	10	13
	7 m/s以上 10 m/s未満	8	14	8	8	13	15	15	16	20	10	9	8
	10 m/s以上 15 m/s未満	8	8	15	18	13	11	3	10	5	8	7	7
	15 m/s以上	9	2	6	4	4	3	5	2	2	6	4	3
平均風速		2.4	2.1	2.5	2.7	2.8	2.8	2.7	2.6	2.5	2.8	2.1	1.8

気 温 (°C)

通信指令課観測

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高	14.6	17.9	22.5	24.1	34.5	30.8	35.0	36.1	35.6	30.3	24.0	18.9
最低	-4.3	-2.7	0.1	0.6	6.4	14.9	17.4	21.6	16.9	11.4	0.1	-1.9
平均	4.1	6.1	9.6	12.6	19.3	21.1	23.6	27.9	24.3	19.0	12.3	7.4

湿 度 (%)

通信指令課観測

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高	98.3	98.8	98.7	98.5	98.6	98.6	98.8	98.4	98.9	99.2	99.2	99.2
最低	24.8	20.8	16.5	17.2	20.8	30.4	56.5	51.3	45.3	32.7	26.0	33.4
平均	63.7	71.9	73.2	73.0	75.2	86.7	92.2	87.6	87.6	87.9	81.8	81.3

雨 量 (mm)

通信指令課観測

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総雨量	9.0	54.5	92.0	69.5	76.5	119.0	178.5	39.0	140.0	413.5	118.5	67.5

火 災



●龍ヶ崎消防署火災調査室 デジタルマイクロスコープ

火 災 調 査

全国で発生する火災は、年々減少傾向にありながらも、毎年多くの人命と財産が失われています。これらの火災の原因を究明し、今後の火災予防、警防対策に反映させるため、火災調査業務に取り組んでいますが、近年の科学技術の進歩向上により、発生する火災の原因も複雑多様化しています。

それに伴い、電気製品及び燃焼機器等の調査における科学的な立証を図るため、令和元年度に当消防本部では、「デジタルマイクロスコープ」を導入しました。

また、総務省消防庁消防研究センター火災災害調査部原因調査室長による火災調査にかかる証人出廷についての特別講演、事例発表、及びパネルディスカッションによる火災調査研究発表会を実施しました。



●火災調査研究発表会

火災統計上の参考事項

1 火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

2 火災の種類

火災は、次の6種に分類する。ただし、火災が2種以上にわたった場合は、原則として焼き損害額の大きなものの種別による。

(1) 建物火災

建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

(2) 林野火災

林野、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

(3) 車両火災

自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

(4) 船舶火災

船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

(5) 航空機火災

航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

(6) その他の火災

(1)から(5)までに掲げる火災以外の火災(空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災)をいう。

3 火災損害

「火災損害」とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、「焼き損害」、「消火損害」、「爆発損害」、「人的損害(火災による死者及び負傷者)」に区分する。「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいい、「消火損害」とは、消火活動によって受けた水損、破損、汚損等の損害をいい、「爆発損害」とは、爆発現象の破壊作用によって発生した損害のうち、「焼き損害」、「消火損害」以外の損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、火災のための休業による損失等の間接的な損害を除く。

損害額は、り災時における時価により算定することとし、「人的損害」はこれに含めない。

4 焼損の程度

一の建物の焼損程度の区分の基準は、次のとおりである。

(1) 全焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

(2) 半焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

(3) 部分焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%未満のもの又は建物の収容物のみ焼損したものでぼやに該当しないものをいう。

(4) ぼや

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損床面積が 1 m²未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損表面積が 1 m²未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

5 り災世帯

り災世帯については、り災の程度により、次のとおり区分する。

(1) 全損

建物(収容物を含む。以下のこの項において同じ)の火災損害額がり災前の建物の評価額の 70%以上のものをいう。

(2) 半損

建物の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20%以上で、全損に該当しないものをいう。

(3) 小損

建物の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20%未満のものをいう。

6 死者・負傷者

「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者(病死者を除く。)又は負傷した者をいう。この場合消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げるまでの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者または負傷者とする。また、火災により負傷した後 48 時間以内に死亡したものは、火災による死者とする。

7 出火原因

出火原因は、発火源、経過及び着火物の 3 つに区分する。なお、昭和 44 年以降は、発火源については、電気機器に電気冷蔵庫を加え、移動可能なガス道具及び固定したガス設備をそれぞれ都市ガスを用いるものと液化石油ガスを用いるものとに細分するとともに、着火物については、ガス類に液化石油ガスを加えた。

火 災 概 況

区分		平成29年	平成30年	令和元年	前年比
項目					
火 災 件 数 (件)		103	123	126	3
火災種別	建 物 (件)	56	45	51	6
	林 野 (件)	3	5	3	△2
	車 両 (件)	8	9	18	9
	船 舶 (件)				
	航 空 機 (件)	1			
	そ の 他 (件)	35	64	54	△10
焼損棟数	合 計 (棟)	90	82	97	15
	全 焼 (棟)	33	36	27	△9
	半 焼 (棟)	2	3	13	10
	部 分 焼 (棟)	22	19	33	14
	ぼ や (棟)	33	24	24	
焼損面積	建 物 (床㎡)	3,788	3,402	3,633	231
	建 物 (表㎡)	343	264	399	135
	林 野 (a)	1,546	140	2	△138
	車 両 (台)	24	34	23	△11
罹 災 世 帯 数 (世帯)		48	41	40	△1
罹 災 人 員 (人)		106	89	98	9
死傷者	死 者 (人)	6	5	6	1
	負 傷 者 (人)	16	14	9	△5
損 害 額 (千円)		338,231	217,111	369,700	152,589

市 町 村 別 火 災 概 要

種 別		市町村別							
		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
合 計		29	21	39	15	11	4	7	126
建 物		11	11	13	6	7		3	51
林 野		1			2				3
車 両		3	4	6	2	1		2	18
船 舶									
航 空 機									
そ の 他		14	6	20	5	3	4	2	54
建 物 焼 損 棟 数	合 計	27	16	23	11	15		5	97
	全 焼	8	5	6	2	6			27
	半 焼	6	1	2	1	3			13
	部 分 焼	8	4	10	6	3		2	33
	ぼ や	5	6	5	2	3		3	24
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	床 面 積	536	397	1,267	339	1,094			3,633
	表 面 積	182	128	29	37	8		15	399
林 野 (a)		1			1				2
車 両 (台)		6	3	7	2	1		4	23
火災損害額 (千円)		90,426	27,807	98,447	117,264	35,435	1	320	369,700
罹 災 状 況	世 帯	8	10	9	5	6		2	40
	人 員	21	29	21	11	8		8	98
死 傷 者	死 者	1		2	1	1		1	6
	負 傷 者	1	2	4		1	1		9

月別火災種別

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建物火災	3	1	5	7	4	4	2	4	6	3	7	5	51
林野火災			1	2									3
車両火災		1	2	1	3			1	1		3	6	18
船舶火災													
航空機火災													
その他の火災	20	7	6		2	3		3	4	5		4	54
合計	23	9	14	10	9	7	2	8	11	8	10	15	126

曜日別火災種別

曜日別 種別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
建物火災	5	2	8	8	8	14	6	51
林野火災		1		1	1			3
車両火災	1	2	2	5	2	4	2	18
船舶火災								
航空機火災								
その他の火災	8	4	10	10	7	8	7	54
合計	14	9	20	24	18	26	15	126

時間帯別火災種別

時間帯別 種別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
建物火災	2	1		3		2	3	1	2	1	3	1		3	4	1	2	7	1	3	2	5	1		48
林野火災										1	1					1									3
車両火災	1	1		1		1		1	1		3	3	1	1						2				1	17
船舶火災																									
航空機火災																									
その他の火災	1	1	3	1		2	1		2	2	2	6	4	6	4	5	2		3		5		1	2	53
合計	4	3	3	2	3	3	3	4	4	4	7	13	6	7	7	9	4	2	10	3	8	2	6	4	121

※不明5件

火災種別出火原因

出火原因	火災種別						合 計
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	
たばこ	5		1			3	9
こんろ	2						2
こんろ(天ぷら)	5						5
かまど							
風呂かまど							
炉							
焼却炉			1				1
ストーブ	2						2
こたつ							
ボイラー							
煙突・煙道							
排気管			4				4
電気機器	2		1				3
電気装置			1			1	2
電灯・電線等の配線	4					5	9
内燃機関			1				1
配線器具	7						7
火遊び	1						1
マッチ・ライター							
たき火		1				3	4
溶接機・溶断機							
灯 火	1						1
衝突の火花			1				1
取 灰	1						1
火 入 れ	1					11	12
放 火			2			1	3
放火の疑い	5	1	1			22	29
そ の 他	9	1	4			7	21
不 明	6		1			1	8
合 計	51	3	18			54	126

過去 5 年間の火災原因状況

順位 年・件数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成 27 年 総件数 99 件	放火 (疑い含む) 10 件	こんろ 8 件	電灯等の配線 6 件	配線器具 6 件	たき火 5 件
平成 28 年 総件数 64 件	放火 (疑い含む) 8 件	たばこ 7 件	こんろ 4 件	ストーブ 3 件	電灯等の配線 他 8 要因 1 件
平成 29 年 総件数 103 件	放火 (疑い含む) 17 件	マッチ・ライター 8 件	こんろ 6 件	火入れ 6 件	電灯等の配線 6 件
平成 30 年 総件数 123 件	放火 (疑い含む) 38 件	たき火 12 件	電灯等の配線 10 件	マッチ・ライター 9 件	火入れ 7 件
令和元年 総件数 126 件	放火 (疑い含む) 32 件	火入れ 12 件	たばこ 9 件	電灯等の配線 9 件	配線器具 7 件

過去 10 年間の火災件数推移

種別 年別	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	合 計
平成 22 年	73	4	8			24	109
平成 23 年	61	7	13			20	101
平成 24 年	59	4	10			17	90
平成 25 年	58	8	12			28	106
平成 26 年	57	4	19			20	100
平成 27 年	52	7	18			22	99
平成 28 年	34	1	7			22	64
平成 29 年	56	3	8		1	35	103
平成 30 年	45	5	9			64	123
令和元年	51	3	18			54	126

救 急



●令和元年度第2回救急隊員研修会

各種救急訓練・事例検討会の紹介

令和元年中の管内での救急出動件数は13,843件と過去最多の記録を更新し、今後も高齢化社会の進展から増加することが予想される中、救急隊員の知識や技術等の質の向上も求められます。その期待に応えるため下記の訓練等を行っているので紹介します。

<救急隊員研修会>

本研修は、医師を招聘し現場に医師を呼ぶ理由と題した講義をしていただきました。また、稲敷 MC 指導医及び救急救命九州研修所の専任教官を招聘し、救急活動想定訓練を開催しました。



現場に医師を呼ぶ理由と題した講義



稲敷 MC 指導医を含め検討会を実施



救急活動想定訓練を実施している救急隊の様子

<救急事例検討会>

本検討会は、医師を招聘し脳血管障害の事例検討を行いました。また、北総ドクターヘリ搭乗医師、稲敷 MC 指導医を招き、ドクターヘリ事案の事例検討を行いました。



脳血管障害事例検討会



日本医科大学千葉北総病院医師による
ドクターヘリ事例検討会

ドクターヘリ及びドクターカーの紹介

<ドクターヘリ> 千葉県ドクターヘリは、茨城県と千葉県の共同利用事業として、平成 16 年 7 月 1 日から当広域圏で運航が開始されました。また、茨城県でも平成 22 年 7 月から独自のドクターヘリが運航開始されました。

<ドクターカー> ドクターカーは、平成 22 年 9 月 1 日から筑波メディカルセンター病院保有の乗用車型ドクターカーが当広域圏で運行開始され、翌年の平成 23 年 9 月 9 日から日本医科大学千葉北総病院保有のドクターカーも運行開始されました。

また、平成 28 年 11 月 7 日から土浦協同病院保有の救急車型ドクターカーも運行開始されました。

○ 千葉県ドクターヘリ

基地病院 日本医科大学千葉北総病院
(千葉県印西市)



○ 茨城県ドクターヘリ

基地病院 水戸済生会総合病院（水戸市双葉台）
国立病院機構水戸医療センター(茨城町)
*2 病院が交代制で運用する。



令和元年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合 計
千葉D rヘリ	25	32	31		8	9	8	113 回
茨城D rヘリ	3	2	6	11	1			23 回
合 計	28	34	37	11	9	9	8	136 回

○日医千葉北総病院



○筑波メディカルセンター病院



○土浦協同病院



令和元年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合 計
北総D rカー	3	7	3	2	2			17 回
筑波D rカー	5		2		5			12 回
土浦D rカー		1	4	1				6 回
合 計	8	8	9	3	7			35 回

救命講習会の紹介

応急手当ボランティア指導員とは、応急手当普及員や応急手当指導員の資格を取得し消防機関の開催する救命講習会等に指導協力を希望する市民の方々です。



ブラッシュアップ講習会の風景

応急手当ボランティア指導員の登録者数は現在、38名です。

各事業所や学校等で開催する救命講習会に指導員としてご参加いただいております。

稲敷地区メディカルコントロール協議会の紹介

「稲敷地区メディカルコントロール協議会」（略語：稲敷MC協議会）とは稲敷地区住民の救命率の向上を図るため、消防本部、医療機関及び地域保健所等と連携し、病院前救護に係る諸課題を協議し、稲敷地区における救急業務の円滑な推進を図ることを目的に活動しております。

協議会の活動

・指示・検証部

稲敷MC協議会の指導医師が、心肺停止、特異な救急案件及び指令課員が行う口頭指導について、医学的な立場から検証し、救急隊員に指導、助言等を行っています。また、救急隊が行うシミュレーション訓練にも参加し、病院前救護の質を担保していただいております。



事後検証会風景

・教育研修部

教育研修会会議において、医師、看護師等の病院関係者及び救急隊員で年間の教育コースを決定し、一次救命処置講習(BLS)、二次救命処置講習(ICLS)、病院前外傷処置講習(JPTEC)、脳卒中病院前救護講習(PSLS)、多数傷病者対応講習(MCLS)等を企画立案して技術の向上を図っています。

市町村別救急出動状況(件数)

市町村別 事故種別	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	圏外	合計
火災	28	27	33	12	15	1	9	2	127
自然災害			7	1	2	1	1		12
水難事故	4		10	3		1	5	1	24
交通事故	263	334	177	204	33	38	44	3	1,096
労働災害	37	24	48	28	3	5	10		155
運動競技	27	27	10	14	3	1	4		86
一般負傷	556	481	297	276	129	72	86	1	1,898
加害事故	18	15	10	10	1	1	3		58
自損行為	22	31	17	22	2	4	6		104
急病	2,481	2,445	1,580	1,525	567	358	502	1	9,459
その他	転院	202	176	130	145	9	73		735
	医師搬送		1						1
	資機材搬送								
	その他	29	24	15	5	8	6	1	88
計	3,667	3,585	2,334	2,245	772	488	744	8	13,843

月別救急出動状況(件数)

月別 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	14	8	10	9	11	6	7	8	10	12	14	18	127
自然災害									12				12
水難事故	4	1	1	1	3	1	7			4	1	1	24
交通事故	101	96	94	81	103	78	86	91	98	79	88	101	1,096
労働災害	7	17	10	8	14	13	28	15	12	14	11	6	155
運動競技	1	4	7	8	7	7	10	9	13	9	6	5	86
一般負傷	195	161	130	147	131	146	140	173	183	145	170	177	1,898
加害事故	5	4	4	6	1	9	3	3	6	5	6	6	58
自損行為	9	7	7	16	12	4	5	12	5	8	8	11	104
急病	1,004	724	765	723	709	671	858	903	771	732	753	846	9,459
その他	転院	59	52	59	77	53	46	63	64	53	71	78	735
	医師搬送		1										1
	資機材搬送												
	その他	9	7	7	6	7	2	10	12	11	5	5	7
計	1,408	1,082	1,094	1,082	1,051	983	1,217	1,286	1,185	1,066	1,133	1,256	13,843

事故種別年齢区分搬送状況(人員数)

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新生児										7	15	22
乳幼児				37		1	113			386	14	551
少年				112		48	61	4	6	223	12	466
成人	7	5	1	666	128	33	336	31	49	2,357	233	3,846
老人	4	5	3	298	29	4	1,277	7	21	5,755	458	7,861
計	11	10	4	1,113	157	86	1,787	42	76	8,728	732	12,746

事故種別傷病程度別搬送状況(人員数)

事故種別 程度区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死亡				2	1		3		20	225	2	253
重症			1	43	17	1	68	1	16	768	168	1,083
中等症	5	1	2	178	73	25	622	7	17	3,757	484	5,171
軽症	6	9	1	890	66	60	1,094	34	23	3,976	78	6,237
その他										2		2
計	11	10	4	1,113	157	86	1,787	42	76	8,728	732	12,746

救急隊員の行った応急処置件数調

応急処置 区分 事故種別	対応 象急 人員 処置	止 血	固 定	人工呼 吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸 素吸 入	気道確保				保 温	被 覆	
					うち 自動	うち 自動	*1	*2		*3	*4					
急病	8,715	64	28	88	8		306	55	1,817	426	2	10	70	6	5,579	52
交通事故	1,111	30	609	2	1		4		86	10					449	192
一般負傷	1,785	138	167	5			9	3	90	18		4		1	908	463
その他	1,114	47	105	5	1		30	8	282	37			5	1	643	114
計	12,725	279	909	100	10	0	349	66	2,275	491	2	14	75	8	7,579	821

応急処置 区分 事故種別	在宅療法継続			除 細 動	静 脈 路 確 保 (輸液)	薬 剤 投 与	応 急 の 処 置 の	血 圧 測 定	心 聴 器 に よ る 呼 吸 音 の 聴 取	度 酸 の 素 測 飽 定 和	心 電 図 測 定	者 シ ョ ク 患 者 へ の 輸 液	血 糖 測 定	投 与 エ ピ ン ド ル ミ ン	投 与 ブ ロ ウ ン グ ル ン	
	*A	*B	*C													
急病	266	6	56	201	28	249	120	8,207	8,169	8,597	8,408	6,181	100	159	1	33
交通事故	3		1	2		3	1	836	1,083	1,092	1,096	227	4	1		
一般負傷	28	1	9	19		7	3	1,617	1,699	1,726	1,762	484	2	3		
その他	23	2	8	17	1	17	9	966	1,055	1,054	1,076	548	3			
計	320	9	74	239	29	276	133	11,626	12,006	12,469	12,342	7,440	109	163	1	34

* 1、用手及び経鼻エアウェイ等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

* 2、喉頭鏡・鉗子等による異物除去を行った件数を内数として記載

* 3、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

* 4、救急救命士が気管内挿管を行った件数を内数として記載

* A、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

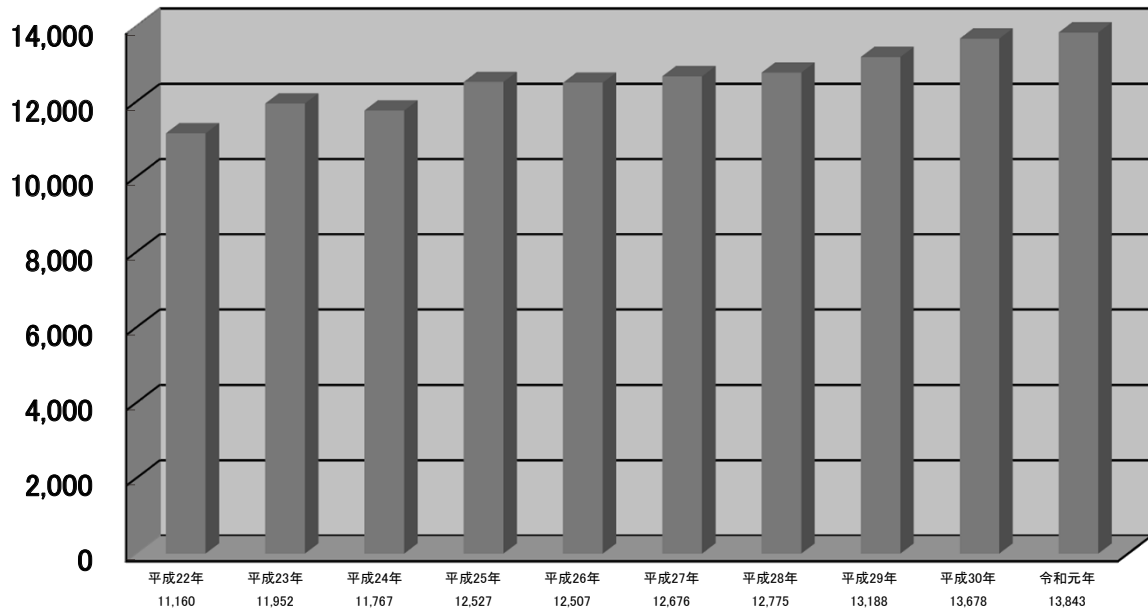
* B、気管切開孔又は気道瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載

* C、* A・* B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

市町村別救急出動状況推移

市町村名	年別 区分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和
		22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	元 年
龍ヶ崎市	出場件数	2,847	3,060	3,113	3,322	3,297	3,094	3,248	3,304	3,526	3,667
	搬送件数	2,633	2,829	2,891	3,105	3,064	2,856	2,967	3,022	3,213	3,311
	搬送人員	2,684	2,879	2,933	3,155	3,111	2,891	3,009	3,048	3,253	3,337
牛久市	出場件数	2,778	3,033	3,012	3,100	3,204	3,418	3,351	3,582	3,650	3,585
	搬送件数	2,599	2,825	2,807	2,886	2,989	3,129	3,087	3,177	3,294	3,301
	搬送人員	2,652	2,875	2,849	2,933	3,021	3,184	3,119	3,216	3,327	3,342
稲敷市	出場件数	2,111	2,165	2,102	2,299	2,211	2,227	2,328	2,391	2,297	2,334
	搬送件数	1,982	2,007	1,961	2,142	2,049	2,084	2,164	2,198	2,074	2,091
	搬送人員	2,038	2,036	1,996	2,182	2,088	2,118	2,187	2,226	2,097	2,123
阿見町	出場件数	1,653	1,869	1,736	1,872	1,917	2,029	2,057	2,121	2,308	2,245
	搬送件数	1,516	1,728	1,592	1,711	1,723	1,862	1,874	1,946	2,113	2,051
	搬送人員	1,536	1,753	1,621	1,737	1,752	1,888	1,906	1,989	2,139	2,087
利根町	出場件数	591	676	663	636	693	672	678	656	748	772
	搬送件数	552	620	616	589	634	619	622	598	684	702
	搬送人員	559	624	625	596	647	624	626	604	688	702
河内町	出場件数	445	454	446	495	468	487	396	388	430	488
	搬送件数	422	419	417	456	427	442	349	360	383	453
	搬送人員	430	424	426	461	430	443	352	364	388	460
美浦村	出場件数	722	685	680	797	705	741	710	739	714	744
	搬送件数	667	657	645	757	665	692	686	682	654	682
	搬送人員	674	663	655	767	673	698	693	686	661	691
圏外	出場件数	13	10	15	6	12	8	7	7	5	8
	搬送件数	12	7	11	6	9	3	4	1	4	4
	搬送人員	13	7	12	8	9	3	4	1	4	4
総合計	出場件数	11,160	11,952	11,767	12,527	12,507	12,676	12,775	13,188	13,678	13,843
	搬送件数	10,383	11,092	10,940	11,652	11,560	11,687	11,753	11,984	12,419	12,595
	搬送人員	10,586	11,261	11,117	11,839	11,731	11,849	11,896	12,134	12,557	12,746

救急出動件数推移



救命講習実施状況

普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		その他の講習	
回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
190	2,701	4	13	32	349	5	16	102	2,858

救命入門コース		合計	
回数	受講者数	回数	受講者数
26	634	359	6,571

救急蘇生の状況

救急搬送された心肺機能停止傷病者に関する統計です。

心肺機能停止の症例

平成30年中

全心肺停止	335件	
蘇生施行事案	335件	
心原性 250件	目撃あり	93件
	目撃なし	157件
非心原性	85件	

平成30年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
93件	1ヶ月生存	
	10件	生存率 10.7%

心肺機能停止の症例

令和元年中

全心肺停止	359件	
蘇生施行事案	359件	
心原性 297件	目撃あり	98件
	目撃なし	199件
非心原性	62件	

令和元年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
98件	1ヶ月生存	
	7件	生存率 7.1%

<非心原性に属するもの>

- ・外因による死亡はすべて非心原性とする。
外傷、縊頸、窒息、溺水、薬物中毒等
- ・内因による死亡のうち、不全臓器や疾患が特定できるもの。
中枢神経系：脳血管障害、くも膜下出血、脳腫瘍等、呼吸器系：気管支喘息、肺炎等
大血管系：大動脈解離・破裂、肺動脈血栓塞栓症等、消化器系：消化管出血、肝不全等
- ・悪性腫瘍の末期状態
- ・乳児突然死症候群

<心原性に属するもの>

- ・明らかな心疾患が原因のもの
- ・非心原性以外のもの
- ・老衰は除外診断の心原性とする。
- ・浴槽内での心停止は明らかに溺死と判断できる場合を除き、除外診断に基づく心原性とする。

管内消防団



● 第 29 回消防団幹部研修会

管内消防団の状況

令和2年4月1日現在

区 分	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村
発足年月日	S29. 3. 20	S29. 4. 1	H17. 3. 22	S30. 4. 1	S30. 1. 1	S38. 4. 1	S41. 3. 14
組 織 体 制	団 長	1名	1名	1名	1名	1名	1名
	副 団 長	2名	3名	16名	2名	4名	2名
	指 導 員	6名	4名	13名	9名	2名	4名
	分 団 長	11名	28名	81名	15名	15名	10名
	副分団長	7名	0名	80名	15名	15名	0名
	部 長	33名	29名	80名	16名	15名	18名
	班 長	100名	105名	167名	34名	42名	36名
	団 員	323名	293名	792名	191名	82名	159名
消防団員総数	483名	463名	1229名	283名	176名	288名	230名
車 両 装 備	普通ポンプ車	12台	7台	9台	16台	6台	6台
	小型動力ポンプ	23台	1台	0台	15台	0台	0台
	小型動力積載車	23台	24台	79台	0台	9台	13台
	多機能消防車	0台	1台	0台	1台	0台	0台
	司令車等	2台	2台	4台	1台	1台	1台
年 齢 別 状 況	20歳未満	0名	0名	2名	0名	0名	0名
	20歳～25歳未満	10名	4名	42名	3名	10名	5名
	25歳～30歳未満	39名	23名	133名	12名	18名	28名
	30歳～35歳未満	39名	34名	269名	38名	15名	51名
	35歳～40歳未満	83名	70名	391名	51名	17名	77名
	40歳～45歳未満	102名	121名	224名	69名	41名	46名
	45歳～50歳未満	99名	82名	102名	75名	42名	18名
	50歳～55歳未満	63名	61名	51名	23名	17名	2名
	55歳～60歳未満	25名	40名	9名	6名	5名	3名
60歳以上	23名	28名	6名	6名	11名	0名	
勤 続 年 数 別 状 況	5年未満	113名	89名	269名	46名	52名	48名
	5年～10年未満	91名	74名	288名	52名	37名	66名
	10年～15年未満	64名	67名	329名	54名	27名	61名
	15年～20年未満	87名	68名	201名	60名	17名	32名
	20年～25年未満	69名	73名	98名	39名	27名	16名
	25年～30年未満	40名	54名	32名	25名	10名	4名
	30年以上	19名	38名	12名	7名	6名	3名

各消防団の事務局

消防団別	事務局の位置等	
龍ヶ崎市消防団	龍ヶ崎市3710番地	危機管理課 消防グループ
牛久市消防団	牛久市中央3丁目15番地1	市民部 防災課 消防G
稲敷市消防団	稲敷市犬塚1570番地1	総務部 危機管理課 消防防災係
阿見町消防団	稲敷郡阿見町中央1丁目1番1号	町民生活部 防災危機管理課 消防係
利根町消防団	利根町大字布川841番地1	総務課 消防交通係
河内町消防団	稲敷郡河内町源清田1183	総務課 交通防災係
美浦村消防団	稲敷郡美浦村大字受領1515	総務部 総務課 消防防災係

名 称 稲敷消防年報 2020

発 行 稲敷広域消防本部

茨城県龍ヶ崎市 3,571 番地の 1

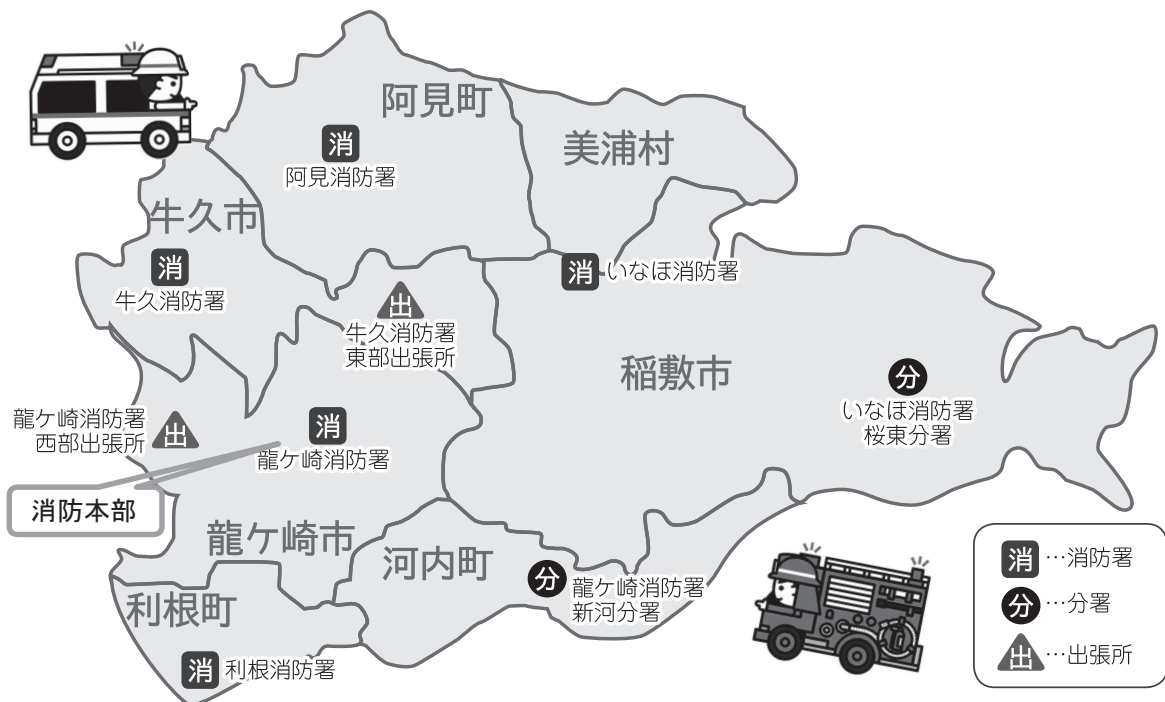
☎ 0 2 9 7 - 6 4 - 3 7 4 3

編 集 消 防 本 部 総 務 課

発行年月 令 和 2 年 7 月

印 刷 株 式 会 社 ア サ ヒ ビ ジ ネ ス

所在地一覧



署所名	所在地	電話番号
稲敷広域消防本部	〒301-0837 龍ヶ崎市3571番地の1	TEL 0297-64-3743(代表) FAX 0297-64-3746
龍ヶ崎消防署	〒301-0822 龍ヶ崎市1759番地	TEL 0297-62-5131 FAX 0297-62-5138
新河分署	〒300-1312 稲敷郡河内町長竿5765番	TEL 0297-84-0119 FAX 0297-84-3192
西部出張所	〒301-0007 龍ヶ崎市馴染町1区23番地の2	TEL 0297-66-0119 FAX 0297-66-8473
牛久消防署	〒300-1233 牛久市栄町4丁目1番地	TEL 029-873-0119 FAX 029-871-4181
東部出張所	〒300-1288 牛久市久野町798番地1	TEL 029-875-0119 FAX 029-875-0219
いなほ消防署	〒300-0507 稲敷市犬塚1570番地2	TEL 029-892-0119 FAX 029-892-1239
桜東分署	〒300-0737 稲敷市上須田355番1	TEL 0299-79-3720 FAX 0299-79-3726
阿見消防署	〒300-0333 稲敷郡阿見町若栗3337番地	TEL 029-887-0119 FAX 029-888-0201
利根消防署	〒300-1622 北相馬郡利根町布川2073番地	TEL 0297-68-3755 FAX 0297-68-8331

